

令和元年度

湖西市教育委員会

自己点検・評価報告書

令和2年12月

湖西市教育委員会

# 目 次

はじめに	1
I 令和元年度 湖西市教育委員会 基本姿勢と事業の展開	2
教育委員会組織	3
各課の仕事の概要	4
決算の概要	5
II 令和元年度 湖西市教育委員会の活動等における 点検・評価の概要	6
1 教育委員会の活動	6
2 教育委員会の審議案件	6
3 事業の概要	7
4 事務事業評価の概要	8
III 外部評価委員の意見	39
IV 総合評価	43

はじめに

本市教育委員会においては、平成25年度に静岡県「教育振興基本計画」を参考に、国の「教育基本法」、湖西市の「新・湖西市総合計画」に基づいて「湖西市教育振興基本計画（2013年～2020年）」を策定した。

この計画は、これまで教育委員会各課が、改善を重ねながら毎年継続してきた事業を整理、明文化したもので、『明日の湖西を創る“ひと”づくり』を基本理念とし、その理念に基づいた教育委員会各課の基本目標と方針を明記し、諸事業の具現化を図り、学校教育及び生涯学習の充実をはじめ、教育環境の整備を推進する指標である。

令和元年度においては、本計画に基づき、教育委員会各課において諸事業に取り組み、その取組状況については、実績等の概要を取りまとめ、「事務事業評価」、「主要施策成果の説明書」として報告している。

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条第1項の規定により、教育委員会は、毎年、事務の管理及び執行状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならないと定められている。

そのため、本市教育委員会の令和元年度の活動及び施策に関する自己点検及び評価を実施し、報告書としてまとめる。

《参考》

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検並びに評価等）

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第4項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

令和元年度

湖西市教育委員会 基本姿勢と事業の展開

【教育次長 鈴木 徹】

【基本理念】

**●明日の湖西を創るひとづくりに取り組む**

- ・やさしく、たくましく、こころざしある“ひと”を育てたい
- ・知りたい、学びたい、活動したい、運動したいという欲求に応えたい
- ・ひとが信頼し合い、認め合う環境を保ち続けたい
- ・ひととがやさしく触れ合うまちは保ち続けたい
- ・安全で安心、心地よい環境づくりを推し進めたい
- ・地域の子どもを地域で守り育てたい

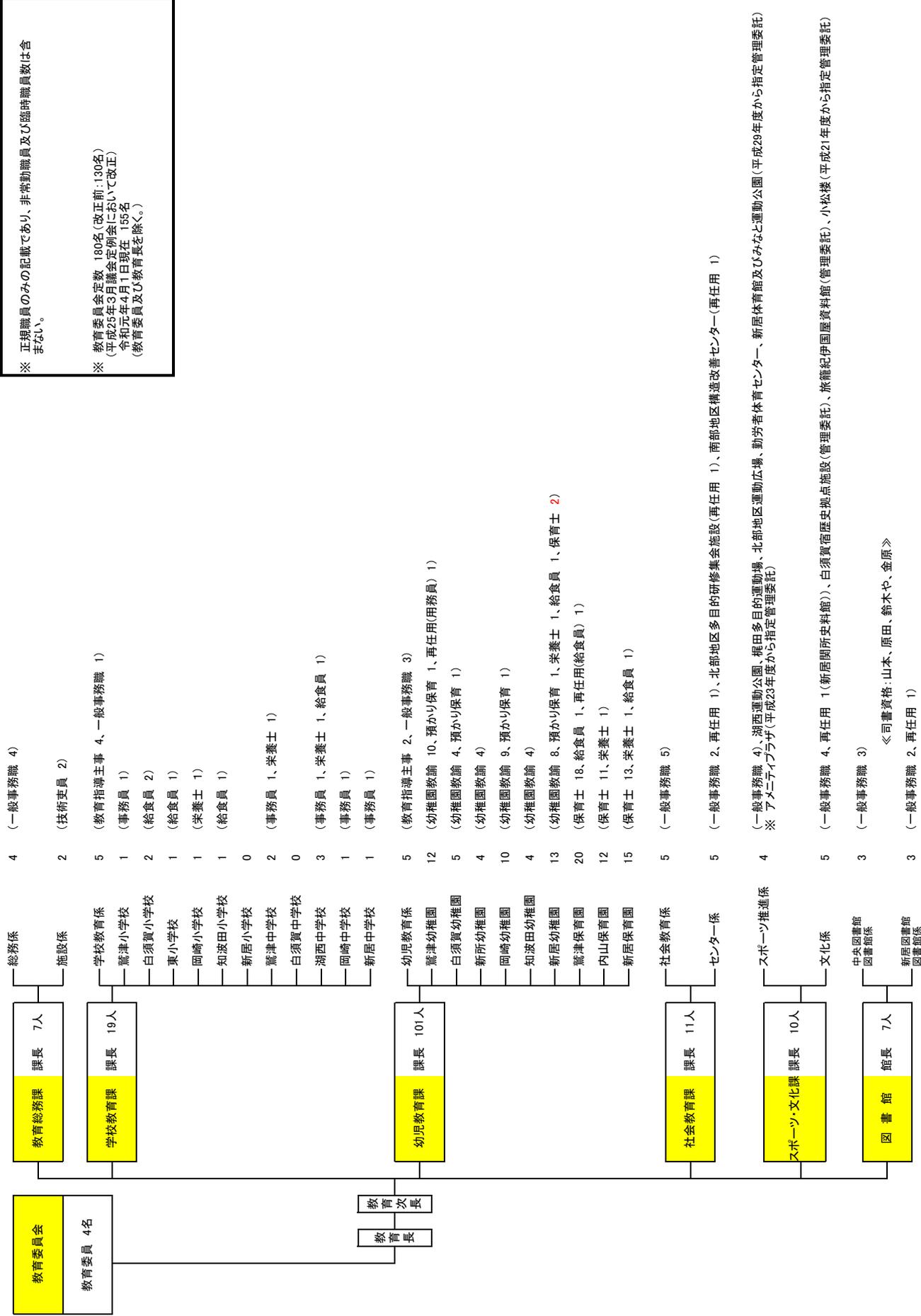
【目標】

- 教育総務課 …… 子どもの“学ぶ”環境をよりよいものにします
- 学校教育課 …… 小学校から中学校までの、“ひと”としての基礎づくりを支えます
- 幼児教育課 …… 小学校就学前の幼児の健やかな成長を後押しします
- 社会教育課 …… 市民の皆さんの生きがいとなる、知りたい、学びたい、活動したいという欲求に応えます
- スポーツ・文化課 …… 市民の皆さんの健康増進をお手伝いし、運動したい、まちの歴史や文化を知りたいという欲求に応えます
- 図書館 …… 市民の皆さんの学ぶ気持ちを支え、知りたい、学びたいという欲求に応えます

所属名	方針	重点事業等
教育総務課	① 教育委員会に関する情報を積極的に公開するよう努めます	☆ ウェブサイト等を利用して、会議録や活動内容の積極的な情報公開に努めます
	② 安全で安心な教育環境の整備に努めます	☆ 安全な教育環境づくりのため、新居中学校外壁塗装改修及び岡崎幼稚園園舎耐震補強工事を行います。
	③ 事業の効果的で効率的な執行に努めます	☆ 事業の適正な執行と管理を推進し、常に効果的で効率的な執行に努めます
	④ 魅力ある学校づくりの基盤として、教職員の資質向上に取り組めます	☆ 指導技術の向上を目指した教職員の研修の充実を図ります
学校教育課	① 子どもたちの学習の基盤整備に努めます	☆ 「学びの基礎7つの取り組み」を推進します
	② 夢と信頼と充実感のある学校づくり、子どもが主体的に学ぶ授業づくりに取り組めます	☆ 確かな学力の定着のための指導方法の工夫・改善を行います
	③ 授業や行事を通して自立する心と創造する力を育みます	☆ 自立する心と創造する力を育む授業や行事の工夫に努めます
	④ 心の教育の充実を図ります	☆ 「心の教育」を重視し、道徳教育の一層の充実に努めます
幼児教育課	① 一人ひとりの教育的ニーズに応じた教育環境の整備に努めます	☆ 特別支援教育、外国人児童生徒の支援体制の整備に努めます
	② 社会の急激な変化から派生した今日的な課題に的確に対応します	☆ キャリア教育、国際理解教育、安全教育(防災・防犯・交通安全)を推進します
	③ 地域とともに歩む学校づくりを推進します	☆ 「開かれた学校」の推進に努めます
	④ 基本的な生活習慣の定着を通して、自立する心を育みます	☆ 「幼児期に育てたい力」を活用し、基本的な生活習慣の定着に努めます
児童教育課	① 夢と信頼と充実感のある園づくり、子どもの主体的な活動支援に取り組めます	☆ 子どもが主体的に遊びに取り組める環境や保育・行事の工夫・改善に努めます
	② 一人ひとりの発達に応じた保育と保護者の支援に努めます	☆ 一時預かり事業(幼稚園型)の充実に努めます
	③ 保育環境の整備に努めます	☆ 読み聞かせと家庭読書の推進に努めます・公立幼稚園のこども園化を推進します
	④ 魅力ある園づくりの基盤として教職員の資質向上に取り組めます	☆ 指導技術の向上をめざし、職員研修の充実を図ります
社会教育課	① 家庭教育支援に努めます	☆ 家庭教育サポート事業を実施し、家庭の教育力の向上を図ります
	② 地域における教育力向上のため、学校、家庭、地域等との連携を図ります	☆ 学校支援地域本部事業の成果を踏まえ、体制の確立に努めます
	③ 青少年健全育成意識の醸成に努めます	☆ 青少年育成事業を整理し、より効果的な事業の実現を図ります
	④ ささまざまな“学ぶ”活動ができる生涯学習環境の整備に努めます	☆ 人材登録リスト「達人録」を整備するとともに、市民が率先して学べる機会を提供します
スポーツ・文化課	① 市民が集い、結びあう地域センター活動の普及に努めます	☆ 利用者の活動成果の発表の場としてのまつりを実施します
	② 安全で安心な施設の管理運営に努めます	☆ 市民が安全で安心して利用できる施設管理に努めます
	③ スポーツの普及推進及び育成を図ります	☆ スポーツ教室や大会を開催し、生涯スポーツを推進します
	④ 社会体育施設の維持管理及び運営に努めます	☆ 市内社会体育施設を安全、快適に利用できるよう指定管理者と連絡調整を密にします
図書館	① 一人でも手軽にできるウォーキングや体操等の環境づくりを努めます	☆ 学校施設を開放し、市民の健康維持を支援します。
	② 歴史の保存と継承に努めます	☆ 国特別史跡「新居開跡」の整備を推進するとともに、市内に伝わる文化財の保護保存と活用を図ります
	③ 文化、芸術の振興と支援に努めます	☆ 市内の芸術文化団体を支援するとともに、市民に芸術文化活動に親しむ機会を提供します
	④ 安全で安心な施設の管理運営に努めます	☆ 市民が安全で安心して利用できる施設管理に努めます
図書館	① 情報拠点としての図書館運営の充実に努めます	☆ 図書等の資料収集に努め、貸出、レファレンス等を充実します
	② 図書館活動の推進に努めます	☆ フックスタート事業やおはなし会の開催により、幼児期より図書に親しんでもらいます
	③ 安全で快適な施設環境を整えるよう、施設の維持管理に努めます	☆ 図書館外壁等改修工事の安全に留意し、計画工期内に完了するよう進めます。

# 教育委員会組織（令和元年度）

（令和元年4月1日現在）



## 令和元年度 各課の仕事の概要

部	課名	係名	仕事の概要
教 育 委 員 会 事 務 局	教育総務課	総務係	公印の管守。教育委員会の招集、提出議案調整、議決事件処理。規則、規程などの公布。職員の人事、服務、給与、福利厚生。教材、教具の整備。学校給食。豊田佐吉翁記念奨学金事業。育英奨学資金貸付事業。学校等の施設の保守管理。総合教育会議。
		施設係	学校等の財産の取得、処分。学校等の施設の整備、修繕、建設。施設整備に係る調査。学校等の施設の保守管理。
	学校教育課	学校教育係	通学区。学籍。学級編制。教科書無償給与。学校経営の指導。教職員の服務・研修。教育課程。学校保健及び安全。就学支援。特別支援教育。教育相談。生徒指導。転入学。
	幼児教育課	幼児教育係	こども・子育て支援新制度に関すること。幼稚園、保育園に関する事務（公私立保育園・公立幼稚園入退園含む）。園経営の指導。教職員の服務・研修。保育・教育課程。
	社会教育課	社会教育係	社会教育の企画。幼児・青少年・家庭・成人・高齢者教育の振興。地域社会教育の振興。青少年リーダーの育成。成人式。生涯学習の推進。青少年育成センターの運営。
		公民館係	西部公民館、北部・南部構造改善施設の維持管理。講座の開催。公民館まつりの開催。図書室業務。
	スポーツ・文化課	スポーツ推進係	社会体育の企画推進。社会体育施設・学校体育施設開放の維持管理、運営。アメニティプラザ・湖西運動公園ほか5施設の監督管理。
		文化係	芸術文化の振興。白須賀宿歴史拠点施設の運営・維持管理。文化財保護。新居関所史料館の運営・維持管理。新居宿旅籠紀伊国屋資料館の運営・維持管理。新居関所跡の保存・整備。小松楼まちづくり交流館の運営・維持管理。
	図書館	中央図書館 図書館係	図書館の維持管理。図書館業務。
		新居図書館 図書館係	図書館の維持管理。図書館業務。

# 財政状況から見る湖西市 令和元年度決算

皆さんが納めた税金がどのように使われたのか、令和元年度の決算の状況をお知らせします。併せて湖西市の現状と将来の見通しから今後の取り組みまでお伝えします。

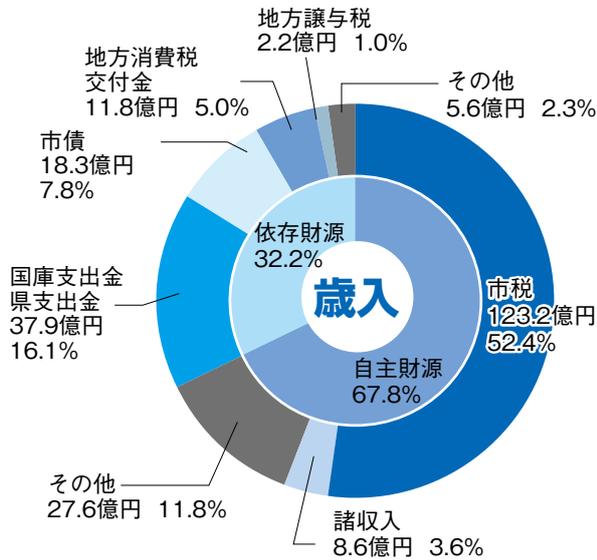
問合せ先 財政課 ☎053-576-1112 FAX053-576-1115

## 令和元年度決算概要

### ■一般会計

歳入歳出ともに昨年度から増加となりました。これは、浜名湖西岸土地区画整理事業や大倉戸茶屋松線整備事業、幼稚園及び小・中学校への空調設備整備事業、津波避難施設整備事業などの大型事業が増えたことなどが主な要因です。併せて「職住近接」をキーワードにした子育て支援事業や人口減少対策事業を推進しました。

### ■歳入決算額 235.2億円(前年度比9.1%増)



### 歳入の使い道(一部)

#### ■市税のうち都市計画税4.1億円

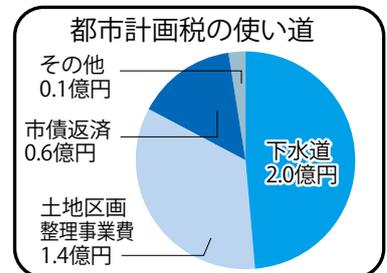
都市計画区域内の事業に使われています。

#### ■地方消費税交付金のうち社会保障財源分4.5億円

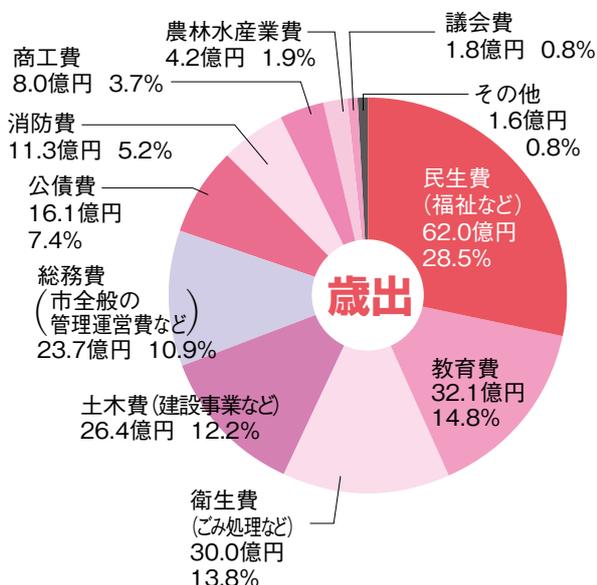
消費税率の引き上げに伴い子育てなど少子化対策や医療・介護事業など社会保障費に使われています。

#### ■諸収入のうち競艇事業収入5.6億円

学校施設・社会体育施設修繕、土地区画整理、道路整備などに使われています。



### ■歳出決算額 217.2億円(前年度比8.8%増)



### ■各会計決算総括表(単位:億円)

会計	区分	歳入		歳出 金額(B)	差し引き (A-B)
		金額(A)	うち一般会計からの繰入金		
一般会計		235.2		217.2	18.0
特別会計	国民健康保険事業	59.2	3.1	55.6	3.6
	介護保険事業	41.3	5.9	38.6	2.7
	後期高齢者医療事業	6.8	1.2	6.8	0.0
企業会計	公共下水道事業	収益的収支	13.8	13.1	0.7
		資本的収支	6.1	9.5	▲3.4
	水道事業	収益的収支	12.4	10.3	2.1
		資本的収支	0.1	3.1	▲3.0
	病院事業	収益的収支	33.0	31.3	1.7
		資本的収支	1.1	2.1	▲1.0
合計		409.0	27.4	387.6	21.4

## II 令和元年度 湖西市教育委員会の活動等における点検・評価の概要

### 1 教育委員会の活動

本市教育委員会を年1回開催し、規則等の制定及び改廃、予算その他の議会の議決に付すべき事件案に関する意見聴取、付属機関の委員の委任又は任命に関する事等について慎重に審議した。

また、臨時会を2回開催し、職員の人事異動等について審議した。

教育委員研修については、定例会開催ごとに委員協議会を開催し、情報の提供と意見交換に努めるとともに、教育委員会を学校等の教育施設を会場に開催し、合わせて市内教育現場の視察を実施するなど、本市教育行政の実情把握と認識を深めた。

また、長野県松川町で開催された三遠南信教育サミットでは、本市が事例発表「地域・保護者ととともにあゆむ 学びの基礎7つの取組」を行うほか、静岡県市町教育委員研修会等へ参加し、見聞を広めた。

総合教育会議は、平成27年4月1日施行の地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律第1条の4の規定により、市長と教育委員会が協議・調整する場として総合教育会議を設けると定められた。本年度の総合教育会議では、外国人児童の支援や学校の老朽化に伴う学校給食施設のあり方などについて、教育の現状と課題から今後の教育の方向性について市長と意見交換した。

### 2 教育委員会の審議案件

教育委員会が管理・執行する事務は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）第21条に規定されている次に示す19項目の事務である。

- (1) 教育委員会の所管に属する第30条に規定する学校その他の教育機関（以下「学校その他の教育機関」という。）の設置、管理及び廃止に関する事。
- (2) 学校その他の教育機関の用に供する財産（以下「教育財産」という。）の管理に関する事。
- (3) 教育委員会及び学校その他の教育機関の職員の任免その他の人事に関する事。
- (4) 学齢生徒及び学齢児童の就学並びに生徒、児童及び幼児の入学、転学及び退学に関する事。
- (5) 学校の組織編成、教育課程、学習指導、生徒指導及び職業指導に関する事。

- (6) 教科書その他の教材の取扱いに関する事。
- (7) 校舎その他の施設及び教具その他の設備の整備に関する事。
- (8) 校長、教員その他の教育関係職員の研修に関する事。
- (9) 校長、教員その他の教育関係職員並びに生徒、児童及び幼児の保健、安全、厚生及び福利に関する事。
- (10) 学校その他の教育機関の環境衛生に関する事。
- (11) 学校給食に関する事。
- (12) 青少年教育、女性教育及び公民館の事業その他社会教育に関する事。
- (13) スポーツに関する事。
- (14) 文化財の保護に関する事。
- (15) ユネスコ活動に関する事。
- (16) 教育に関する法人に関する事。
- (17) 教育に係る調査及び基幹統計その他の統計に関する事。
- (18) 所掌事務に係る広報及び所掌事務に係る教育行政に関する相談に関する事。
- (19) 前各号に掲げるもののほか、当該地方公共団体の区域内における教育に関する事務に関する事。

上記に基づき、規則等の制定及び改廃に関する事42件、予算その他議会の議決に関する事6件、職員（教職員）の人事に関する事2件、付属機関等の委員を任命または委嘱する事20件、その他自己点検・評価報告書の作成及び議会提出に関する事など6件、合わせて76件の議案について慎重に審議し、すべての案件について決定及び承認した。

### 3 事業の概要

令和元年度は、湖西市教育振興基本計画に掲げる教育委員会の基本理念である「明日の湖西を創る“ひと”づくり」に基づき、各課において定めた基本目標と方針により、事業展開を行った。

各項目ごとの主な事業は次のとおりである。

資料編P.1からP.4 児童福祉費については、公立保育園の管理、運営や民間保育所への運営費の支出及び事業等への助成を行った。

P.5からP.13 教育総務費については、教育委員会の運営、臨時・非常勤職員の雇用、教育指導関係事業等を行った。

P.14からP.23 小学校費・中学校費・幼稚園費については、教育環境の整備として、幼稚園、小学校、中学校のエアコン整備が完了した。また、岡崎幼稚園のこども園化事業を推進し、新たに南園舎が完成した。新居中学校中校舎屋上外壁改修など工事、各施設の維持・管理、修繕を行った。

P.24からP.34 社会教育費については、社会教育諸事業の推進に際し、関係諸団体はじめ、多くの市民の協力や参加をいただき、社会教育の推進及び青少年健全育成活動の促進、文化財の保護・保存・整備や公民館活動の充実等に努めた。

P.35からP.37 図書館費については、図書館活動にかかる各種の事業や施設の修繕を実施し、図書館機能の充実を図った。

P.36からP.42 保健体育費については、体育施設の維持管理及びスポーツ教室の開催等により、市民スポーツ団体の育成や市民スポーツ活動の推進に努めた。

#### 4 事務事業評価の概要

教育委員会の各課、館の主要事業について、事業ごとに評価の概要をまとめた。

湖西市教育振興基本計画の目標・方針

担当課	目 標	方 針
教育総務課	◎教育施策の円滑な運営 ◎園児・児童・生徒が安全で安心できる施設整備の充実	1 教育委員会に関する積極的な情報公開に努めます 2 安全で安心な教育環境の整備を図ります 3 事業を効果的・効率的に執行します
学校教育課	◎自立と創造・共生を育む学校教育の充実	1 魅力ある学校づくりの基盤として教職員の資質向上に取り組みます 2 学習の基盤整備に取り組みます 3 夢と信頼と充実感のある学校づくり、子どもが主体的に学ぶ授業づくりに取り組みます 4 授業や行事を通して自立する心と創造する力を育みます 5 心の教育の充実を図ります 6 一人ひとりの教育的ニーズに応じた教育環境の整備に努めます 7 社会の急激な変化から派生した今日的な課題に的確に対応します 8 地域とともに歩む学校づくりを推進します
幼児教育課	◎豊かな心と健やかな体を育む保育園・幼稚園教育の充実	1 基本的な生活習慣を通して、自立する心を育みます 2 夢と信頼と充実感のある園づくり、子どもの主体的な活動支援に取り組みます 3 一人ひとりの発達に応じた保育と保護者の支援に努めます 4 保育環境の整備に努めます 5 魅力ある園づくりの基盤として教職員の資質向上に取り組みます
社会教育課	◎子どもを健やかに育てる社会教育の充実	1 家庭教育支援に努めます 2 地域における教育力向上のため学校、家庭、地域等の連携を図ります 3 青少年健全育成意識の醸成に努めます 4 さまざまな“学ぶ”活動ができる生涯学習の環境を整備します 5 市民が集い、結びあう公民館活動に努めます 6 安全で安心な施設の管理運営に努めます
文化課	◎まちの歴史の保護、保存、整備に力を入れる文化活動 ◎文化芸術に親しむ機会の提供と支援を行う活動 ◎生活の中で歴史に触れる活動	1 歴史の保存と継承に努めます 2 文化、芸術の振興と支援に努めます 3 安全で安心な施設の管理運営に努めます
スポーツ推進課	◎誰もが、いつでも、どこでも、いつまでも親しみ、楽しむことができる生涯スポーツ文化の推進	1 スポーツの普及推進及び育成を図ります 2 社会体育施設の維持管理及び運営に努めます 3 新居体育館整備事業を推進します
図書館	◎学習活動環境の充実	1 情報拠点としての図書館運営の充実に努めます 2 図書館活動の推進に努めます 3 安全で快適な施設環境を整えるよう施設の維持管理に努めます

自己点検・評価の考え方

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条により、湖西市では本シートを用いて令和元年度の活動及び施策の自己点検及び評価を行う。	マトリックスの見方		↑ 実現度	A		★
	実現度	重要度		B		☆
	A…目標達成	A…非常に重要		C		
	B…概ね目標達成	B…重要	★令和元年度 C B A			
	C…目標達成できない	C…やや低い	★平成30年度 重要度→			

各事業の目標・方針は教育振興基本計画に基づく

[教育総務課 事業評価の概要]

事業名	公立保育所施設管理運営費		資料編	4頁
目 標	園児・児童・生徒が安全で安心して生活できる施設整備の充実	方 針	2 安全で安心な教育環境の整備を図ります	
概 要	保育園の保育環境の向上及び充実を図るため、施設管理を行う。			
令和元年度 目 標	保育園内の修繕件数10件			
令和元年度 実績等	◇3園の廃棄物処理を行い、清掃業務委託等・廃棄物の収集運搬を委託した。 ◇3園で8件の修繕を行った。			
平成30年度 実績等	◇3園の廃棄物処理を行い、施設の設備保守点検等・廃棄物の収集運搬を委託した。 ◇3園で10件の修繕を行った。			
課題及び 今後の 取り組み	平成31年4月から市公共施設の維持管理業務を一括して委託する方法「包括施設管理」の導入に伴い、保育園施設の管理委託業務を資産経営課に移管した。 財政状況により大規模修繕など各園の要望には十分な対応ができていないが、優先順位により計画的な施設修繕を図るため、予算の確保に努める。		評 価	↑ 実現度 A B C B A 重要度→ ★☆ ☆R1 ★H30
事業名	教育委員会関係経費		資料編	5頁
目 標	教育施策の円滑な運営	方 針	1 教育委員会に関する積極的な情報公開に努めます 3 事業を効果的・効率的に執行します	
概 要	学校及び、その他の教育機関の職員の身分取扱、その他地方公共団体における教育行政の組織及び運営を定める会議を定例・臨時に開催する。			
令和元年度 目 標	教育委員会の開催回数12回			
令和元年度 実績等	◇教育委員会の開催 定例会11回、臨時会2回 ◇教育委員研修会等への出席 市町教育委員会連絡総会協議会、市町教育委員研修会、三遠南信教育サミット（長野県松川町）湖西市事例発表「地域・保護者と共にあゆむ 学びの基礎7つの取組」 ◇総合教育会議の開催 1回			
平成30年度 実績等	◇教育委員会の開催 定例会12回、臨時会1回 ◇教育委員研修会等への出席 市町教育委員研修会、三遠南信教育サミット（湖西市）「総合学習における豊田佐吉翁顕彰の取組み」三遠南信地域の教育委員等 26市町村137名が参加。 ◇総合教育会議の開催 1回			
課題及び 今後の 取り組み	教育委員会の会議録や活動内容の積極的な情報公開を図り開かれた委員会を目指す。 総合教育会議は、市長と教育の課題などについて情報を共有し、継続的に意見交換を行って教育施策に反映させる。		評 価	↑ 実現度 A B C B A 重要度→ ★☆ ☆R1 ★H30

事業名	事務局関係経費			資料編	6頁		
目 標	教育施策の円滑な運営	方 針	3 事業を効果的・効率的に執行します				
概 要	教育行政の推進を図るため、教育長等の各種研修会や協議会への出席。市内各小学校・中学校の非常勤職員等を雇用し、教育行政の円滑な運営を図る。						
令和元年度 目 標	非常勤職員等の雇用人数33人						
令和元年度 実績等	◇非常勤職員等の雇用を33人、延べ34人行った。 ◇各種負担金の支出により、他組織等との連携・協議を図った。						
平成30年度 実績等	◇非常勤職員等の雇用を34人、延べ35人行った。 ◇各種負担金の支出により、他組織等との連携・協議を図った。 ◇平成30年4月から鷺津中、新居中、岡崎小の給食調理業務を民間業者に委託した。						
課題及び 今後の 取り組み	緊急を要する会計年度任用職員の雇用確保が難しく、今後も給食調理業務の委託化の拡充を検討する。 令和2年度から制度改正に伴い、非常勤職員等は会計年度任用職員へ身分切替した。			評 価	↑ 実 現 度	A B C 重要度→ ☆R1 ★H30	★☆☆
事業名	豊田佐吉翁記念奨学金事業費			資料編	7頁		
目 標	教育施策の円滑な運営	方 針	3 事業を効果的・効率的に執行します				
概 要	優良な生徒であって、経済的理由により修学が困難な者に対し、豊田佐吉翁記念奨学金の運用益等により、奨学援助を行い社会に有用な人材を育成する。						
令和元年度 目 標	奨学金の給付人数14人						
令和元年度 実績等	◇大学生12人、高校生2人に奨学金1,848千円を交付（大学生12,000円/月、高校生5,000円/月） ◇選考委員会の開催 2月14日 ◇豊田家に謝恩の意を伝える表敬訪問の実施（トヨタ自動車本社） 8月21日 11名参加						
平成30年度 実績等	◇大学生10人、高校生3人に奨学金1,595千円を交付（大学生12,000円/月、高校生5,000円/月） ◇選考委員会の開催 2月14日 ◇豊田家に謝恩の意を伝える表敬訪問の実施（トヨタ自動車本社） 8月22日 12名参加						
課題及び 今後の 取り組み	利率の低迷により運用益だけの運営ができない状況である。 今後の奨学金の運用について検討する。			評 価	↑ 実 現 度	A B C 重要度→ ☆R1 ★H30	☆☆
事業名	育英奨学資金貸付事業費			資料編	7頁		
目 標	教育施策の円滑な運営	方 針	3 事業を効果的・効率的に執行します				
概 要	優良な生徒であって、経済的理由により修学が困難な者に対し、無利子で奨学資金の貸付けを行い、社会に有用な人材を育成する。						
令和元年度 目 標	新規貸付人数3人						
令和元年度 実績等	◇新規貸付者 高校生1人。継続大学生4人に貸付けを行った。 （大学生50,000円/月、高校生15,000円/月）						
平成30年度 実績等	◇新規貸付者 大学生1人。継続大学生5人に貸付けを行った。 （大学生50,000円/月、高校生15,000円/月）						
課題及び 今後の 取り組み	新規の応募者が減少している現状を踏まえ、制度の見直しや市民への周知について検討が必要である。令和2年度から選考基準を、部活動や学校活動等で実績がある者についても選考対象とするように変更した。 また、新たな奨学金制度も含め検討する。  新規応募者の状況 H28 3人、H29 3人、H30 3人、R元 1人			評 価	↑ 実 現 度	A B C 重要度→ ☆R1 ★H30	★☆☆

事業名	学校給食推進事業費			資料編	13頁
目標	自立と創造・共生を育む学校教育の充実	方針	6	一人ひとりの教育的ニーズに応じた教育環境の整備に努めます	
概要	各小学校・中学校における給食業務の衛生管理を徹底し、安定した給食を提供する。				
令和元年度目標	保菌・食品検査の実施率100%				
令和元年度実績等	◇保菌・食品検査の実施率100% ◇鷺津小学校・岡崎小学校・新居小学校・鷺津中学校・岡崎中学校・新居中学校の給食業務委託				
平成30年度実績等	◇保菌・食品検査の実施率100% ◇鷺津小学校・岡崎小学校・新居小学校・鷺津中学校・岡崎中学校・新居中学校の給食業務委託 ※平成30年度から、新たに3校を委託				
課題及び今後の取り組み	緊急を要する会計年度任用職員（給食員）の雇用確保が難しいため、各小学校・中学校の給食調理業務の委託化の拡充を検討する。	評価	↑ 実現度	A	★☆☆
				B	
				C	B A
				重要度→ ☆R1 ★H30	
事業名	各小学校管理運営費及び小学校施設管理運営費			資料編	14頁
目標	教育施策の円滑な運営	方針	2	安全で安心な教育環境の整備を図ります	
概要	小学校教育及び児童の健全な教育環境の維持及び充実を図るため、消耗品、光熱水費、施設の修繕料、清掃・保守委託、備品購入費等の経費を計上し、小学校施設の適切な管理運営を行う。				
令和元年度目標	小学校内での修繕件数25件				
令和元年度実績等	◇湖西市全小学生3,082人（令和元年5月1日現在） ※基準日の児童数はH30と同数でした。 ◇小学校の運営費として計131,907千円（42,799円/人）を執行した。 ◇6校で24件の修繕を行った。				
平成30年度実績等	◇湖西市全小学生3,082人（平成30年5月1日現在） ◇小学校の運営費として計154,205千円（50,034円/人）を執行した。 ◇6校で48件の修繕を行った。				
課題及び今後の取り組み	平成31年4月から市公共施設の維持管理業務を一括して委託する方法「包括施設管理」の導入に伴い、小学校施設の管理委託業務及び施設管理に伴う軽微な修繕については業務を移管した。 大規模修繕や備品購入など、各小学校の要望には十分な対応ができていない。 今後の計画的な施設修繕・備品購入等の推進のため、予算の確保に努める。	評価	↑ 実現度	A	★☆☆
				B	
				C	B A
				重要度→ ☆R1 ★H30	
事業名	各小学校教育振興費			資料編	15頁
目標	教育施策の円滑な運営	方針	2	安全で安心な教育環境の整備を図ります	
概要	小学校教育の振興を図るため、必要な教材用消耗品、学校図書、教材備品等を購入し教育振興の充実を図る。				
令和元年度目標	購入図書冊数の前年度比100%				
令和元年度実績等	◇湖西市全小学生3,082人（令和元年5月1日現在） ◇各小学校計で9,363千円（3,038円/人）の教材用消耗品、学校図書、教材備品等を購入した。 ◇6校で744冊の図書を購入。前年度比112.7%。				
平成30年度実績等	◇湖西市全小学生3,082人（平成30年5月1日現在） ◇各小学校計で9,384千円（3,045円/人）の教材用消耗品、学校図書、教材備品等を購入した。 ◇6校で660冊の図書を購入。前年度比85.8%。				
課題及び今後の取り組み	平成30年度と比較すると、図書の購入冊数は増加したが、財政上の問題もあり、各小学校の要望には十分な対応ができていない。 教育振興費は、学力向上の基幹であり、今後、予算の確保に努める。	評価	↑ 実現度	A	☆
				B	
				C	B A
				重要度→ ☆R1 ★H30	

事業名	教育扶助費（小学校）			資料編	16頁
目 標	教育施策の円滑な運営	方 針	3 事業を効果的・効率的に執行します		
概 要	小学校における教育の円滑な実施を図るため、経済的理由等により就学困難な児童の保護者・特別支援学級に就学する児童の保護者に対し、必要な学用品・通学用品費等を援助する。				
令和元年度 目 標	援助の支給人数120人				
令和元年度 実績等	◇就学援助費補助として49人に3,213千円補助した。 ◇特別支援教育就学奨励費補助として92人に3,150千円補助した。				
平成30年度 実績等	◇就学援助費補助として49人に2,989千円補助した。 ◇特別支援教育就学奨励費補助として73人に2,454千円補助した。				
課題及び 今後の 取り組み	新入学用品費の入学前支給について検討し、平成31年4月から市内小学校に入学予定の児童に対し、新入学用品費の入学前支給を実施した。 時代を反映し増加傾向にあり、また貧困家庭対策の一環として社会的重要性が増しているため、対象費目の拡大、効果的な支給時期等を検討する必要がある。	評 価	↑ 実 現 度	A	★☆☆
				B	
				C	B A
				重要度→ ☆R1 ★H30	
事業名	一般諸経費（小学校部活動費交付金）			資料編	16頁
目 標	教育施策の円滑な運営	方 針	3 事業を効果的・効率的に執行します		
概 要	小学校の部活動を育成し、児童の体力・知力の向上及び学校教育の充実を図るため、部活動に要する経費を補助する。				
元年度 目 標	補助金の交付学校数				
令和元年度 実績等	◇1校あたり10万円の補助金を6校すべてに交付した。 ◇全国大会等に出場の場合は、交通費、宿泊費の2分の1以内の額を交付することとなっているが、該当なし。				
平成30年度 実績等	◇1校あたり10万円の補助金を6校すべてに交付した。 ◇全国大会等に出場の場合は、交通費、宿泊費の2分の1以内の額を交付することとなっているが、該当なし。				
課題及び 今後の 取り組み	一律10万円の交付について、大規模校、小規模校間の不公平が言われることがあるが、大会（記録会等）が市内に限られている。また、学校からも概ね問題ないとの評価であり、当面現状の方法で様子を見る。	評 価	↑ 実 現 度	A	★☆☆
				B	
				C	B A
				重要度→ ☆R1 ★H30	
事業名	小学校施設整備費			資料編	16頁
目 標	園児・児童・生徒が安全で安心して生活できる施設整備の充実	方 針	2 安全で安心な教育環境の整備を図ります		
概 要	小学校の教育環境の向上及び充実を図るため、施設整備を行う。				
令和元年度 目 標	工事中における児童の安全確保と学校業務の円滑な進行（％）				
令和元年度 実績等	◇小学校空調設備整備事業 451,025千円 10月に工事を開始し、3月までの工期であったが、安全・円滑に施工を行い、100%完了した。				
平成30年度 実績等	◇白須賀小学校給食室空調設備取替工事 7,290千円 冬休み中の生徒不在期間を中心に安全・円滑に施工し、100%完了した。				
課題及び 今後の 取り組み	施設整備には多くの予算が必要となるため、計画的な予算確保と執行を行う。 まずは、児童の安心・安全面を優先して事業計画し、よりよい教育環境の充実にめざして施設整備を進める。 公共施設再配置計画と教育施設地域拠点構想に基づき、教育施設の改修等計画を今後検討する。	評 価	↑ 実 現 度	A	★☆☆
				B	
				C	B A
				重要度→ ☆R1 ★H30	

事業名	各中学校管理運営費及び中学校施設管理運営費			資料編	17頁
目 標	教育施策の円滑な運営	方 針	2 安全で安心な教育環境の整備を図ります		
概 要	中学校生徒の健全な教育環境の維持及び充実を図るため、消耗品、燃料費、光熱水費、施設の修繕料、清掃・保守委託、備品購入費等の経費を計上し、中学校施設の適切な管理運営を行う。				
令和元年度 目 標	中学校内での修繕件数15件				
令和元年度 実績等	◇湖西市全中学生1,567人（令和元年5月1日現在） ◇中学校の運営費として計105,692千円（67,449円/人）を執行した。 ◇5校で10件の修繕を行った。				
平成30年度 実績等	◇湖西市全中学生1,611人（平成30年5月1日現在） ◇中学校の運営費として計134,480千円（83,476円/人）を執行した。 ◇5校で26件の修繕を行った。				
課題及び 今後の 取り組み	平成31年4月から市公共施設の維持管理業務を一括して委託する方法「包括施設管理」の導入に伴い、中学校施設の管理委託業務及び施設管理に伴う軽微な修繕については業務を移管した。 大規模修繕や備品購入など、各中学校の要望には十分な対応ができていない。優先順位による計画的な修繕・備品購入等を進める。	評 価	↑ 実 現 度	A B C	★☆ A
				重要度→ ☆R1 ★H30	
事業名	各中学校教育振興費			資料編	18頁
目 標	教育施策の円滑な運営	方 針	2 安全で安心な教育環境の整備を図ります		
概 要	中学校における中等普通教育に必要な教材用消耗品、学校図書、教材備品等を購入し、教育振興の整備充実を図る。				
令和元年度 目 標	購入図書冊数の前年度比100%				
令和元年度 実績等	◇湖西市全中学生1,567人（令和元年5月1日現在） ◇各中学校計で10,548千円（6,731円/人）の教材用消耗品、学校図書、教材備品等を購入した。 ◇5校で920冊の図書を購入。前年度比101.2%。				
平成30年度 実績等	◇湖西市全中学生1,611人（平成30年5月1日現在） ◇各中学校計で9,471千円（5,879円/人）の教材用消耗品、学校図書、教材備品等を購入した。 ◇5校で909冊の図書を購入。前年度比97.7%。				
課題及び 今後の 取り組み	平成30年度と比較すると、図書の購入冊数は増加したが、財政上の問題もあり、各小学校の要望には十分な対応ができていない。 教育振興費は、学力向上の基幹であり、今後、予算の確保に努める。	評 価	↑ 実 現 度	A B C	★☆ A
				重要度→ ☆R1 ★H30	
事業名	教育扶助費（中学校）			資料編	19頁
目 標	教育施策の円滑な運営	方 針	3 事業を効果的・効率的に執行します		
概 要	中学校における教育の円滑な実施を図るため、経済的理由等により就学に必要な学用品・通学用品費等を補助する。				
令和元年度 目 標	支給人数65人				
令和元年度 実績等	◇就学援助費補助として32人に2,339千円補助した。 ◇特別支援教育就学奨励費補助として37人に1,643千円補助した。				
平成30年度 実績等	◇就学援助費補助として30人に2,648千円補助した。 ◇特別支援教育就学奨励費補助として38人に1,658千円補助した。				
課題及び 今後の 取り組み	新入学用品費の入学前支給について検討し、平成31年4月から市内中学校に入学予定の児童に対し、新入学用品費の入学前支給を実施した。 時代を反映し増加傾向にあり、また貧困家庭対策の一環として社会的重要性が増しているため、対象費目の拡大、効果的な支給時期等を検討する必要がある。	評 価	↑ 実 現 度	A B C	★☆ A
				重要度→ ☆R1 ★H30	

事業名	一般諸経費（中学校部活動費交付金）			資料編	19頁																
目 標	教育施策の円滑な運営	方 針	3 事業を効果的・効率的に執行します																		
概 要	中学校の部活動を育成し、生徒の体力・知力の向上及び学校教育の充実を図るため、部活動に要する経費を補助する。																				
令和元年度 目 標	交付金交付のクラブ件数53クラブ																				
令和元年度 実績等	◇クラブ数、部員数割として53クラブ、部員数1,557人に計4,710千円を交付した。 ◇全国大会選手派遣事業（水泳:京都府京都市、陸上:大阪府大阪市、男子・女子バレー:和歌山県和歌山市）として27人に553千円を交付した。																				
平成30年度 実績等	◇クラブ数、部員数割として54クラブ、部員数1,606人に計4,285千円を交付した。 ◇全国大会選手派遣事業（水泳:岡山県倉敷市、陸上:岡山県岡山市、柔道:広島県広島市）として15人に326千円を交付した。																				
課題及び 今後の 取り組み	選手派遣事業は交通費・宿泊費の1/2以内の交付であり、全額負担ではないので生徒の保護者負担が発生する。			評価	<table border="1"> <tr> <td>↑ 実 現 度</td> <td>A</td> <td>★☆</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>B</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>C</td> <td>B</td> <td>A</td> </tr> <tr> <td></td> <td colspan="3">重要度→ ☆R1 ★H30</td> </tr> </table>	↑ 実 現 度	A	★☆			B				C	B	A		重要度→ ☆R1 ★H30		
↑ 実 現 度	A	★☆																			
	B																				
	C	B	A																		
	重要度→ ☆R1 ★H30																				
事業名	中学校施設整備費			資料編	20頁																
目 標	園児・児童・生徒が安全で安心して生活できる施設整備の充実	方 針	2 安全で安心な教育環境の整備を図ります																		
概 要	中学校の教育環境の向上及び充実を図るため、施設整備を行う。																				
令和元年度 目 標	工事中における児童の安全確保と学校業務の円滑な進行（%）																				
令和元年度 実績等	◇新居中学校中校舎屋上外壁改修工事 53,665千円 7月に工事を開始し、11月までの工期であったが、安全・円滑に施工を行い、100%完了した。 ◇中学校空調設備整備事業 309,859千円 10月に工事を開始し、3月までの工期であったが、安全・円滑に施工を行い、100%完了した。																				
平成30年度 実績等	◇新居中学校南校舎屋上外壁改修工事 44,020千円 7月に工事を開始し、12月までの工期であったが、安全・円滑に施工を行い、100%完了した。																				
課題及び 今後の 取り組み	施設整備には多くの予算が必要となるため、計画的な予算確保と執行を行う。 まずは、児童の安心・安全面を優先して事業計画し、よりよい教育環境の充実をめざして施設整備を進める。 公共施設再配置計画と教育施設地域拠点構想に基づき、教育施設の改修等計画を今後検討する。			評価	<table border="1"> <tr> <td>↑ 実 現 度</td> <td>A</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>B</td> <td></td> <td>★☆</td> </tr> <tr> <td></td> <td>C</td> <td>B</td> <td>A</td> </tr> <tr> <td></td> <td colspan="3">重要度→ ☆R1 ★H30</td> </tr> </table>	↑ 実 現 度	A				B		★☆		C	B	A		重要度→ ☆R1 ★H30		
↑ 実 現 度	A																				
	B		★☆																		
	C	B	A																		
	重要度→ ☆R1 ★H30																				
事業名	幼稚園施設管理運営費			資料編	22頁																
目 標	園児・児童・生徒が安全で安心して生活できる施設整備の充実	方 針	2 安全で安心な教育環境の整備を図ります																		
概 要	幼稚園の保育環境の向上及び充実を図るため、施設管理を行う。																				
令和元年度 目 標	幼稚園内の修繕件数20件																				
令和元年度 実績等	◇6園の廃棄物処理を行い、清掃業務委託等・廃棄物の収集運搬を委託した。 ◇6園で17件の修繕を行った。																				
平成30年度 実績等	◇6園の廃棄物処理を行い、施設の設定備保守点検等・廃棄物の収集運搬を委託した。 ◇6園で19件の修繕を行った。																				
課題及び 今後の 取り組み	平成31年4月から市公共施設の維持管理業務を一括して委託する方法「包括施設管理」の導入に伴い、幼稚園施設の管理委託業務を資産経営課に移管した。 財政状況により大規模修繕など各園の要望には十分な対応ができていないが、優先順位により計画的な施設修繕を図るため、予算の確保に努める。			評価	<table border="1"> <tr> <td>↑ 実 現 度</td> <td>A</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>B</td> <td></td> <td>☆</td> </tr> <tr> <td></td> <td>C</td> <td>B</td> <td>★</td> </tr> <tr> <td></td> <td colspan="3">重要度→ ☆R1 ★H30</td> </tr> </table>	↑ 実 現 度	A				B		☆		C	B	★		重要度→ ☆R1 ★H30		
↑ 実 現 度	A																				
	B		☆																		
	C	B	★																		
	重要度→ ☆R1 ★H30																				

事業名	幼稚園施設整備費		資料編	23頁									
目標	園児・児童・生徒が安全で安心して生活できる施設整備の充実	方針	2 安全で安心な教育環境の整備を図ります										
概要	幼稚園の保育環境の向上及び充実を図るため、施設整備を行う。												
令和元年度目標	設計書および設計図面等の完成（100%）												
令和元年度実績等	<p>◇岡崎幼稚園こども園化事業耐震改修・増築工事 184,797千円 6月に工事を開始し、令和3年2月の完成に向け施工を行ったが一部の工事が繰越となった。（93%）</p> <p>◇岡崎幼稚園こども園化事業下水道工事 18,623千円 9月に工事を開始し、12月までの工期であったが、安全・円滑に施工を行い、100%完了した。</p> <p>◇新居幼稚園こども園化改修工事 27,648千円 7月に工事を開始し、9月までの工期であったが、安全・円滑に施工を行い、100%完了した。</p> <p>◇幼稚園空調設備整備事業 117,185千円 4月に工事を開始し、3月までの工期であったが、安全・円滑に施工を行い、100%完了した。</p>												
平成30年度実績等	<p>◇岡崎幼稚園こども園化事業耐震改修・増築工事設計業務 12,744千円 5月に設計業務を開始し、3月に設計書および設計図面を完成させた。（100%）</p> <p>◇新居幼稚園こども園化改修工事設計業務 1,339千円 5月に設計業務を開始し、9月に設計書および設計図書を完成させた。（100%）</p>												
課題及び今後の取り組み	施設整備には多くの予算が必要となるため、計画的な予算確保と執行を行う。 まずは、児童の安心・安全面を優先して事業計画し、よりよい教育環境の充実をめざして施設整備を進める。  公共施設再配置計画と教育施設地域拠点構想に基づき、教育施設の改修等計画を今後検討する。	評価	↑ 実現度	<table border="1"> <tr> <td>A</td> <td></td> <td>★☆☆</td> </tr> <tr> <td>B</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>C</td> <td>B</td> <td>A</td> </tr> </table> <p>重要度→ ☆R1 ★H30</p>	A		★☆☆	B			C	B	A
A		★☆☆											
B													
C	B	A											

[学校教育課事業評価の概要]

事業名	教育指導関係経費（教育指導関係事業）		資料編	7頁												
目 標	自立と創造・共生を育む学校教育の充実	方 針	6 一人ひとりの教育的ニーズに応じた教育環境の整備に努めます													
概 要	各小学校・中学校での学校教育の充実を図るため、教育指導に関わる諸事業を推進する。															
令和元年度 目 標	就学支援事業 学校・幼稚園・保育園への就学相談延べ回数70回 学校教育運営事業 指導主事県教育委員会主催の研修への延べ参加回数40回 生きた英語教育推進事業 学校教育課事業評価において11校中、Aと答える学校の割合100% 外国人児童生徒適応指導教室事業 学校教育課事業評価において11校中、Aと答える学校の割合100% 不登校児童生徒適応教室事業 入級児童生徒の出席率 75% 語らい読書推進事業 巡回図書延べ冊数 4,950冊 ポルトガル語通訳派遣事業 学校教育課事業評価において11校中、Aと答える学校の割合90% 特別支援教育推進事業 巡回相談員の小中学校訪問22回 特別支援教育支援員30人配置 いじめ対策連絡協議会事業 連絡協議会 年間2回実施															
令和元年度 実績等	◇就学支援事業 学校・幼稚園・保育園への就学相談延べ回数70回 ◇学校教育運営事業 指導主事県教育委員会主催の研修への延べ参加回数66回 ◇生きた英語教育推進事業 学校教育課事業評価において11校中、Aと答える学校の割合100% ◇外国人児童生徒適応指導教室事業 学校教育課事業評価において11校中、Aと答えた学校の割合100% ◇不登校児童生徒適応教室事業 入級児童生徒出席率 43% ◇語らい読書推進事業 巡回図書延べ冊数 4,713冊 ◇ポルトガル語通訳派遣事業 学校教育課事業評価において11校中、Aと答えた学校の割合100% ◇特別支援教育推進事業 巡回相談員の小中学校訪問22回 特別支援教育支援員30人配置 ◇いじめ対策連絡協議会事業 連絡協議会 年間2回実施															
平成30年度 実績等	◇就学指導事業 学校・幼稚園・保育園への就学相談延べ回数68回 ◇学校教育運営事業 指導主事県教育委員会主催の研修への延べ参加回数59回 ◇生きた英語教育推進事業 学校教育課事業評価において11校中、Aと答える学校の割合100% ◇外国人児童生徒適応指導教室事業 学校教育課事業評価において11校中、Aと答えた学校の割合100% ◇不登校児童生徒適応教室事業 入級児童生徒出席率 38% ◇語らい読書推進事業 巡回図書延べ冊数 4,991冊 ◇ポルトガル語通訳派遣事業 学校教育課事業評価において11校中、Aと答えた学校の割合90% ◇特別支援教育推進事業 巡回相談員の小中学校訪問22回 特別支援教育支援員30人配置 ◇いじめ対策連絡協議会事業 連絡協議会 年間2回実施															
課題及び 今後の 取り組み	近年、日本語の全く分からない児童の編入が相次いだため、編入児童生徒も学校も対応に苦慮している。指導員や通訳員の曜日配置や配置日数を工夫するだけでは充足していないため自動翻訳機（ポケトーク）を有効に活用し児童生徒への指導や保護者との面談場面で有効に活用していく。 不登校児童生徒適応指導教室があることで該当児童生徒の居場所が確保され、安心して学習できることにより、学校復帰へ向けての一定の役割を果たしている。	評価	↑ 実現度	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td style="width: 25%;">A</td> <td style="width: 25%;"></td> <td style="width: 25%;"></td> <td style="width: 25%;"></td> </tr> <tr> <td>B</td> <td></td> <td></td> <td>★☆</td> </tr> <tr> <td>C</td> <td>B</td> <td>A</td> <td></td> </tr> </table> 重要度→ ☆R1 ★H30	A				B			★☆	C	B	A	
A																
B			★☆													
C	B	A														

事業名	学校保健衛生費			資料編	10頁
目標	自立と創造・共生を育む学校教育の充実	方針	7	社会の急激な変化から派生した今日的な課題に的確に対応します	
概要	学校保健安全法に基づき、児童生徒、園児及び教職員の健康保持増進のため定期健康診断やけが補償等への対応を行う。 また、法令の趣旨に従って、校医の配置、定期健康診断を実施する。				
令和元年度目標	児童生徒・教職員の受診率 100%				
令和元年度実績等	<p>◇校医配置 学校内科医33人、学校眼科医11人、学校耳鼻科医、学校歯科医21人、学校薬剤師11人</p> <p>◇児童生徒定期健診（内科・眼科・耳鼻科・歯科）11校 年1回 就学児健診 小学校6校</p> <p>◇薬学講座 小学校6回・中学校5回</p> <p>◇教職員健康診断 生活習慣病検診140人、指定年齢検診33人、胸部X線検査131人、ストリフエック53人</p> <p>◇役務 市長会・日本スポーツ振興センター共済加入 児童生徒・教職員の受診率 100%</p>				
平成30年度実績等	<p>◇校医配置 学校内科医33人、学校眼科医11人、学校歯科医21人、学校薬剤師11人</p> <p>◇児童生徒定期健診（内科・眼科・歯科）11校 年1回 就学児健診 小学校6校</p> <p>◇薬学講座 小学校6回・中学校5回</p> <p>◇教職員健康診断 生活習慣病検診135人、指定年齢検診43人、胸部X線検査126人、ストリフエック50人</p> <p>◇役務 水質検査、市長会・日本スポーツ振興センター共済加入 児童生徒・教職員の受診率 100%</p>				
課題及び今後の取り組み	法律に基づき、適正に定期健診等を実施する。学校保健会、医師会と連携し、令和元年度より、耳鼻科検診を開始した。医師と学校との日程調整は課題となるが今後も学校保健会、医師会と相談しながら進めていく。	評価	↑ 実現度	A B C	★☆☆ A A 重要度→ ☆R1 ★H30
事業名	指導資料作成事業費			資料編	10頁
目標	自立と創造・共生を育む学校教育の充実	方針	3	夢と信頼と充実感のある学校づくり、子どもが主体的に学ぶ授業づくりに取り組みます	
概要	小学校社会科副読本「わたしたちの湖西」の指導資料作成作業				
令和元年度目標	指導資料作成事業	副読本の活用率100%			
令和元年度実績等	◇指導資料作成事業	令和3年度改訂に向けて編集作業。			
平成30年度実績等	◇指導資料作成事業	副読本を活用した指導案作成及び評価のための指標づくり、補助教材の研究 副読本の活用率100%			
課題及び今後の取り組み	令和3年度配本に向け、具体的な改訂作業をしてきた。採用教科書が決定するのが9月であったため、年度の後半の作業となった。 今後も、編集作業等、作成委員にかかる負担が大きいため、改訂委員会の運営方法、日程の組み方を工夫していく。	評価	↑ 実現度	A B C	★☆☆ A A 重要度→ ☆R1 ★H30

事業名	研究指定事業費（小中学校指定「特色ある学校づくり」推進事業）		資料編	11頁									
目 標	自立と創造・共生を育む学校教育の充実	方 針	8 地域とともに歩む学校づくりを推進します										
概 要	家庭教育の充実を目指す学びの基礎づくりや児童生徒や地域の実態に応じた活動、思い出となる行事など、特色ある学校づくりを推進し、地域、家庭と協力し、子どもの健やかな成長を図る。												
令和元年度 目 標	学校教育課事業評価においてAと答えた学校の割合100%												
令和元年度 実 績 等	<p>◇外部講師を依頼した授業や体験学習を各小中学校の特色に応じて実施（特色ある学校づくり）</p> <p>◇小中学生の発達段階に合わせた「学びの基礎7つの取組」の改訂 クリアファイルを活用した保護者への啓発（学びの基礎づくり）</p> <p>◇各中学校の計画に基づいて、長距離ウォークやスキー教室、環境学習等を実施（思い出に残る1学校1行事創造）</p> <p>学校教育課事業評価においてAと答えた学校の割合64%</p>												
平成30年度 実 績 等	<p>◇外部講師を依頼した授業や体験学習を各小中学校の特色に応じて実施（特色ある学校づくり）</p> <p>◇「学びの基礎7つの取組」クリアファイルを利用して保護者に啓発（学びの基礎づくり）</p> <p>◇各中学校の計画に基づいて、長距離ウォークやスキー教室、環境学習等を実施（思い出に残る1学校1行事創造）</p> <p>学校教育課事業評価においてAと答えた学校の割合90%</p>												
課題及び 今後の 取り組み	<p>「特色ある学校づくり」推進事業は「社会に開かれた教育課程」を実現するためにも有効な手段であるため、継続していく。</p> <p>学力・学習状況調査の質問紙調査で「規則正しい生活」や「地域との関わり」などが全国平均を大きく上まわっており、「学びの基礎7つの取組」の成果が認められる。</p>	評価	<p>↑ 実現度</p> <table border="1"> <tr> <td>A</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>B</td> <td></td> <td>★☆</td> </tr> <tr> <td>C</td> <td>B</td> <td>A</td> </tr> </table> <p>→ 重要度</p> <p>☆R1 ★H30</p>	A			B		★☆	C	B	A	
A													
B		★☆											
C	B	A											

[幼児教育課事業評価の概要]

事業名		公立保育園管理運営費及び公立保育所総務費		資料編	1・3頁														
目 標	豊かな心と健やかな体を育む保育園・幼稚園教育の充実	方 針	2 夢と信頼と充実感のある園づくり、子どもの主体的な活動支援に取り組みます 5 魅力ある園づくりの基盤として教職員の資質向上に取り組みます																
概 要	公立保育園を適切に管理・運営する。																		
令和元年度目標	内部事務のため未設定																		
令和元年度実績等	◇公立保育園の入所園児数(平成31年4月1日現在) 338人 ◇公立保育園の管理運営費41,172千円及び共通経費100,086千円。																		
平成30年度実績等	◇公立保育園の入所園児数(平成30年4月1日現在) 356人 ◇公立保育園の管理運営費43,784千円及び共通経費97,392千円。																		
課題及び今後の取り組み	保育士の確保が課題である。 新居幼稚園のこども園化により、令和2年度末で内山保育園と新居保育園を閉園する。 令和4年4月の私立保育園2園の開園にあたり、鷺津保育園の縮小を検討する。			評価	<table border="1"> <tr> <td rowspan="3">↑ 実現度</td> <td>A</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>B</td> <td></td> <td>☆☆</td> </tr> <tr> <td>C</td> <td>B</td> <td>A</td> </tr> <tr> <td colspan="4" style="text-align: center;">重要度→ ☆R1 ★H30</td> </tr> </table>	↑ 実現度	A			B		☆☆	C	B	A	重要度→ ☆R1 ★H30			
↑ 実現度	A																		
	B		☆☆																
	C	B	A																
重要度→ ☆R1 ★H30																			
事業名		民間保育所等施設型給付費		資料編	2頁														
目 標	豊かな心と健やかな体を育む保育園・幼稚園教育の充実	方 針	2 夢と信頼と充実感のある園づくり、子どもの主体的な活動支援に取り組みます																
概 要	私立保育園・こども園の適切な運営に扶助する。																		
令和元年度目標	私立保育園及びこども園の園児数(各月初の園児数の累計) 7,000人																		
令和元年度実績等	◇私立保育園及びこども園の園児数(各月初の園児数の累計) 7,059人 ◇市内私立保育園等(6園)と広域入所保育園等(4園)の運営費として、施設型給付費542,692千円																		
平成30年度実績等	◇市内私立保育園及びこども園の園児数(各月初めの児童数の累計) 6,941人 ◇市内私立保育園等(5園)と広域入所保育園等(7園)の運営費として、施設型給付費495,039千円																		
課題及び今後の取り組み	幼児教育・保育の無償化により、財政的負担の増加が課題である。 保育需要の高まりにより待機児童が増加傾向にあり、継続する。 令和2年4月にこども園1園、10月に小規模保育園1園が開園する。 私立保育園1園が閉園予定である。 令和4年4月に私立保育園2園が開園予定である。			評価	<table border="1"> <tr> <td rowspan="3">↑ 実現度</td> <td>A</td> <td></td> <td>☆☆</td> </tr> <tr> <td>B</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>C</td> <td>B</td> <td>A</td> </tr> <tr> <td colspan="4" style="text-align: center;">重要度→ ☆R1 ★H30</td> </tr> </table>	↑ 実現度	A		☆☆	B			C	B	A	重要度→ ☆R1 ★H30			
↑ 実現度	A		☆☆																
	B																		
	C	B	A																
重要度→ ☆R1 ★H30																			

事業名		民間保育所助成事業費		資料編	3頁
目 標	豊かな心と健やかな体を育む保育園・幼稚園教育の充実	方 針	2 夢と信頼と充実感のある園づくり、子どもの主体的な活動支援に取り組みます 4 保育環境の整備に努めます		
概 要	市内私立保育園及びこども園の職員の処遇改善、施設の整備・改善及び保育サービスの充実のために補助する。				
令和元年度 目 標	乳幼児保育事業の実施園 5園 補助対象事業実施園 5園 新設・改築等への補助及びそれに係る借入金利子への補助 4園				
令和元年度 実績等	◇乳幼児保育事業の実施園 5園 ◇補助対象事業実施園 5園 ◇新設・改築等への補助及びそれに係る借入金利子への補助 4園 ◇多様な保育事業 31,325千円 ◇保育対策事業 20,223千円 ◇民間保育園等施設整備事業 164,209千円(償還金利子1,772千円、施設整備162,437千円)				
平成30年度 実績等	◇乳幼児保育事業の実施園 5園 ◇補助対象事業実施園数 5園 ◇新設改築等への補助件数及びそれに係る借入金利子への補助 4園 ◇多様な保育事業 31,822千円 ◇保育対策事業 28,274千円 ◇民間保育園等施設整備事業 1,918千円(償還金利子)				
課題及び 今後の 取り組み	民間保育園等施設整備事業(ハード事業)にかかる助成額は高額となるため、予算の確保が課題である。 保育サービスの充実には不可欠な助成であること、また、保育士の処遇改善は全国的に重要な課題であることから、国の補助要綱に合わせて継続する。		評 価	↑ 実 現 度	A ☆★ B C B A 重要度→ ☆R1 ★H30
事業名		こども園化準備費		資料編	4頁
目 標	豊かな心と健やかな体を育む保育園・幼稚園教育の充実	方 針	4 保育環境の整備に努めます		
概 要	新居幼稚園をこども園化する。				
令和元年度 目 標	内部事務のため未設定				
令和元年度 実績等	12,188千円(消耗品費789千円、手数料60千円、管理用備品費11,339千円)				
平成30年度 実績等	なし				
課題及び 今後の 取り組み	令和2年度は岡崎幼稚園がこども園化するための経費を計上する。		評 価	↑ 実 現 度	A ☆ B C B A 重要度→ ☆R1

事業名	幼児教育無償化事業費			資料編	4頁			
目 標	豊かな心と健やかな体を育む保育園・幼稚園教育の充実	方 針	3 一人ひとりの発達に応じた保育と保護者の支援に努めます					
概 要	認可外保育施設の利用料や子ども・子育て支援新制度未移行幼稚園の一時預かり保育料等へ補助する。							
令和元年度 目 標	補助実績 10施設、20人							
令和元年度 実績等	◇補助実績 7施設、14人 ◇664千円							
平成30年度 実績等	なし							
課題及び 今後の 取り組み	保育需要の高まりにより利用者が増加しているため、継続する。			評 価	↑ 実 現 度	A B C	☆	重要度→ ☆R1
事業名	幼稚園一時預かり事業費			資料編	11頁			
目 標	豊かな心と健やかな体を育む保育園・幼稚園教育の充実	方 針	3 一人ひとりの発達に応じた保育と保護者の支援に努めます					
概 要	子育て支援機能の充実及び保護者の社会参画を支援するため、公立幼稚園で一時預かりを実施する。							
令和元年度 目 標	預かり保育平均実施日数 242日							
令和元年度 実績等	◇預かり保育平均実施日数 234日 ◇開園日一時預かり：鷺津・白須賀・岡崎・新居幼稚園 ◇長期休園日一時預かり：白須賀幼稚園(センター方式による運営) ◇緊急一時預かり：新居幼稚園 ◇非在籍児一時預かり：公立幼稚園 ◇主に非常勤職員報酬及び消耗品費等11,304千円。							
平成30年度 実績等	◇預かり保育平均実施日数 224日 ◇開園日一時預かり：鷺津幼稚園・白須賀幼稚園・岡崎幼稚園・新居幼稚園 ◇長期休園日一時預かり：白須賀幼稚園(センター方式による運営) ◇緊急一時預かり：新居幼稚園 ◇主に非常勤職員報酬及び消耗品費等9,249千円。							
課題及び 今後の 取り組み	幼児教育・保育の無償化により利用者が増加しているため、継続する。 緊急一時預かりは令和2年度は内山保育園で実施したが、閉園により令和3年度からは新居幼稚園で実施する。 新所幼稚園と知波田幼稚園を統合した場合、統合した園で開園日一時預かりを実施する。			評 価	↑ 実 現 度	A B C	☆☆	重要度→ ☆R1 ★H30

事業名	幼稚園教育指導関係経費			資料編	12頁
目 標	豊かな心と健やかな体を育む保育園・幼稚園教育の充実	方 針	3 一人ひとりの発達に応じた保育と保護者の支援に努めます 4 保育環境の整備に努めます		
概 要	公立幼稚園での教育の充実及び向上を図る。				
令和元年度 目 標	巡回相談12回、幼児教育相談10回				
令和元年度 実績等	◇巡回相談及び幼児教育相談の回数 22回 ◇幼児ことばの教室事業 2,138千円 ◇特別支援教育推進事業 9,635千円 ◇幼稚園研究指定事業 52千円 ◇幼稚園教育振興事業 959千円 ◇幼稚園親子読書推進事業 299千円				
平成30年度 実績等	◇巡回相談及び幼児教育相談の回数 22回 ◇幼児ことばの教室事業 2,090千円 ◇特別支援教育推進事業 9,492千円 ◇幼稚園研究指定事業 52千円 ◇幼稚園教育振興事業 917千円 ◇幼稚園親子読書推進事業 278千円				
課題及び 今後の 取り組み	特別支援員の支援スキルの向上及び巡回相談員の確保が課題である。特別な支援を要する子どもは増加傾向にあり、継続する。			評価	↑ 実現度 A ☆★ B C B A 重要度→ ☆R1 ★H30
事業名	公立幼稚園管理運営費及び幼稚園総務費			資料編	20・21頁
目 標	豊かな心と健やかな体を育む保育園・幼稚園教育の充実	方 針	2 夢と信頼と充実感のある園づくり、子どもの主体的な活動支援に取り組みます 5 魅力ある園づくりの基盤として教職員の資質向上に取り組みます		
概 要	公立幼稚園を適切に管理・運営する。				
令和元年度 目 標	内部事務のため未設定				
令和元年度 実績等	◇公立幼稚園の園児数(令和元年5月1日現在) 587人 ◇公立幼稚園の管理運営費30,005千円及び共通経費44,884千円。				
平成30年度 実績等	◇公立幼稚園の園児数(平成30年5月1日現在) 627人 ◇公立幼稚園の管理運営費16,126千円及び共通経費43,955千円。				
課題及び 今後の 取り組み	幼児教育・保育の無償化により、財政的負担の増加が課題である。保育需要が高まる一方で幼稚園への入園者は減少している。岡崎幼稚園を令和3年4月にこども園化する。園児の減少が著しい新所幼稚園と知波田幼稚園の統合を検討する。鷺津保育園の縮小・閉園に合わせて、鷺津幼稚園のこども園化を検討する。			評価	↑ 実現度 A ☆★ B C B A 重要度→ ☆R1 ★H30

事業名	一般諸経費			21頁														
目 標	豊かな心と健やかな体を育む保育園・幼稚園教育の充実	方 針	2 夢と信頼と充実感のある園づくり、子どもの主体的な活動支援に取り組みます 3 一人ひとりの発達に応じた保育と保護者の支援に努めます															
概 要	子ども・子育て支援新制度に移行していない私立幼稚園の入園料・保育料へ補助する。																	
令和元年度 目 標	就園奨励事業補助人数 15人																	
令和元年度 実績等	◇就園奨励事業補助人数 12人 ◇就園奨励事業補助金交付額 2,032千円																	
平成30年度 実績等	◇就園奨励事業補助人数 14人 ◇就園奨励事業補助金交付額 2,391千円																	
課題及び 今後の 取り組み	幼児教育・保育の無償化により令和元年度で廃止し、令和2年度からは幼児教育無償化事業費により補助する。		評 価	<table border="1"> <tr> <td rowspan="3">↑ 実 現 度</td> <td>A</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>B</td> <td>☆☆</td> <td></td> </tr> <tr> <td>C</td> <td>B</td> <td>A</td> </tr> <tr> <td colspan="3">重要度→</td> <td>☆R1 ★H30</td> </tr> </table>	↑ 実 現 度	A			B	☆☆		C	B	A	重要度→			☆R1 ★H30
↑ 実 現 度	A																	
	B	☆☆																
	C	B	A															
重要度→			☆R1 ★H30															
事業名	私立幼稚園等施設型給付費			資料編 22頁														
目 標	豊かな心と健やかな体を育む保育園・幼稚園教育の充実	方 針	2 夢と信頼と充実感のある園づくり、子どもの主体的な活動支援に取り組みます															
概 要	私立幼稚園及びこども園の適切な運営に扶助する。																	
令和元年度 目 標	延べ園児数(各月初めの園児数の累計) 1,500人																	
令和元年度 実績等	◇市内私立こども園の延べ園児数(各月初の園児数の累計) 1,797人 ◇市内私立こども園(3園)と市外広域入所こども園等の運営費として施設型給付費114,226千円。																	
平成30年度 実績等	◇延べ園児数(各月初めの園児数の累計) 2,030人 ◇市内民間こども園(3園)と市外広域入所こども園等の運営費として施設型給付費91,415千円。																	
課題及び 今後の 取り組み	幼児教育・保育の無償化により、財政的負担の増加が課題である。保育需要が高まる一方で幼稚園への入園者は減少しているが、継続する。		評 価	<table border="1"> <tr> <td rowspan="3">↑ 実 現 度</td> <td>A</td> <td></td> <td>☆☆</td> </tr> <tr> <td>B</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>C</td> <td>B</td> <td>A</td> </tr> <tr> <td colspan="3">重要度→</td> <td>☆R1 ★H30</td> </tr> </table>	↑ 実 現 度	A		☆☆	B			C	B	A	重要度→			☆R1 ★H30
↑ 実 現 度	A		☆☆															
	B																	
	C	B	A															
重要度→			☆R1 ★H30															
事業名	私立幼稚園等助成事業費			資料編 22頁														
目 標	豊かな心と健やかな体を育む保育園・幼稚園教育の充実	方 針	3 一人ひとりの発達に応じた保育と保護者の支援に努めます															
概 要	私立幼稚園及びこども園が実施する一時預かり事業へ補助する。																	
令和元年度 目 標	補助件数 1件																	
令和元年度 実績等	◇補助件数 1件 ◇幼稚園型一時預かりを行う私立こども園(1園)への保育対策事業費963千円。																	
平成30年度 実績等	◇補助件数 1件 ◇幼稚園型一時預かりを行う私立こども園(1園)への保育対策事業費666千円。																	
課題及び 今後の 取り組み	子ども・子育て支援新制度に移行した私立幼稚園及びこども園が実施する幼稚園型一時預かり事業への補助で、継続する。		評 価	<table border="1"> <tr> <td rowspan="3">↑ 実 現 度</td> <td>A</td> <td></td> <td>☆☆</td> </tr> <tr> <td>B</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>C</td> <td>B</td> <td>A</td> </tr> <tr> <td colspan="3">重要度→</td> <td>☆R1 ★H30</td> </tr> </table>	↑ 実 現 度	A		☆☆	B			C	B	A	重要度→			☆R1 ★H30
↑ 実 現 度	A		☆☆															
	B																	
	C	B	A															
重要度→			☆R1 ★H30															

[社会教育課 事業評価の概要]

事業名	社会教育総務関係経費		資料編	24頁									
目 標	子どもを健やかに育てる社会教育の充実	方 針	1 家庭教育支援に努めます 4 さまざまな“学ぶ”活動ができる生涯学習の環境を整備します										
概 要	社会教育推進のため、社会教育委員、生涯学習推進協議会委員及び社会教育指導員を置く。												
令和元年度 目 標	社会教育委員会の開催：3回開催 社会教育指導員設置事業：5人設置												
令和元年度 実績等	◇社会教育委員会の開催：3回開催（内1回はコロナ対策により書面開催） ◇生涯学習推進協議会の開催：1回開催 ◇社会教育指導員設置事業：指導員5人設置（家庭教育学級、ふたば学級、ヤングダイヤルなどを担当）												
平成30年度 実績等	◇社会教育委員会の開催：3回開催 ◇生涯学習推進協議会の開催：1回開催 ◇社会教育指導員設置事業：指導員5人設置（家庭教育学級、ふたば学級、ヤングダイヤルなどを担当）												
課題及び 今後の 取り組み	社会教育の振興をはかるため、高い識見と専門性を持つ者を社会教育指導員として配置する。 湖西市生涯学習推進計画を総合的かつ効果的に推進するために、社会教育委員や生涯学習推進協議会委員より意見を徴収し、施策に反映していく。 平成30年4月に社会教育委員により「生涯学習推進に向けた提言（家庭・親・地域のつながり）」の提言書が提出され、それに対し生涯学習推進員などより意見を徴収し、新たな取り組みを検討していく。	評 価	↑ 実 現 度	<table border="1"> <tr> <td>A</td> <td></td> <td>★☆</td> </tr> <tr> <td>B</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>C</td> <td>B</td> <td>A</td> </tr> </table> 重要度→ ☆R1 ★H30	A		★☆	B			C	B	A
A		★☆											
B													
C	B	A											

事業名	生涯学習推進費		資料編	24頁									
目 標	学習活動の環境を充実する生涯学習の推進	方 針	1 家庭教育支援に努めます 2 地域における教育力向上のため学校、家庭、地域等の連携を図ります 4 さまざまな“学ぶ”活動ができる生涯学習の環境を整備します										
概 要	家庭教育、生涯学習の重要性から、各年代層に学習の機会を提供する。												
令和元年度 目 標	家庭教育サポート事業：講座参加人数 1,200人 青少年教育推進事業：イベント参加者数 3,000人 高齢者教育の推進事業：参加者数 400人 生涯学習の推進：達人録登録人数 250人 おちばの里親水公園管理事業：公園利用者数(申請分) 7,000人 放課後子ども教室推進事業：教室申込者数 250人 学校支援本部事業：支援本部設置数 3校												
令和元年度 実績等	◇家庭教育サポート事業：講座参加人数 979人 (ふたば学級、家庭教育学級、幼小で教育講演会を実施) ◇青少年教育推進事業：イベント参加者数 2,201人 (科学の体験、親子体験教室、コーちゃんフェスタ、ものづくり体験事業を実施) ◇高齢者教育の推進事業：寿大学、生涯大学「海鳴学園」を開設。参加者数 393人 ◇生涯学習の推進：達人録登録人数 134人、生涯学習講座32講座、子ども講座3講座の企画及び実施 ◇おちばの里親水公園管理事業：公園利用者数(申請分) 100件、6,636人 ◇放課後子ども教室推進事業：市内6小学校で実施。教室申込者数 201人 ◇学校支援本部事業：学校支援本部を3校設置。(白須賀小、白須賀中、知波田小)												
平成30年度 実績等	◇家庭教育サポート事業：講座参加人数 1,056人 (ふたば学級、家庭教育学級、幼小で教育講演会を実施) ◇青少年教育推進事業：イベント参加者数 2,250人 (科学の体験、親子体験教室、コーちゃんフェスタ、ものづくり体験事業を実施) ◇高齢者教育の推進事業：寿大学、生涯大学「海鳴学園」を開設。参加者数 367人 ◇生涯学習の推進：達人録登録人数 130人、生涯学習講座41講座、子ども講座3講座の企画及び実施 ◇おちばの里親水公園管理事業：公園利用者数(申請分) 101件、5,336人 ◇放課後子ども教室推進事業：市内6小学校で実施。教室申込者数 241人 ◇学校支援本部事業：学校支援本部を3校設置。(白須賀小、白須賀中、知波田小)												
課題及び 今後の 取り組み	ふたば学級や家庭教育学級、放課後子ども教室の参加者が増加するよう、実施内容等を検討する。 湖西市生涯学習推進計画に基づき、ライフステージに応じた事業を展開する。 市内全地区での事業展開を継続する。(ふたば学級、家庭教育学級、寿大学など) 放課後子ども教室を市内全小学校での実施を継続する。	評価	↑ 実現度	<table border="1"> <tr> <td>A</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>B</td> <td></td> <td>★☆</td> </tr> <tr> <td>C</td> <td>B</td> <td>A</td> </tr> </table> 重要度→ ☆R1 ★H30	A			B		★☆	C	B	A
A													
B		★☆											
C	B	A											

事業名		西部地域センター管理運営費		資料編	28頁
目 標	学習活動の環境を充実する生涯学習の推進	方 針	4 さまざまな“学ぶ”活動ができる生涯学習の環境を整備します 5 市民が集い、結びあう公民館活動に努めます 6 安全で安心な施設の管理運営に努めます		
概 要	西部地域センターの施設の維持管理と各種講座、まつりの開催。				
令和元年度 目 標	利用者数 47,000人				
令和元年度 実績等	◇施設管理業務：利用者数 47,658人 ◇生涯学習講座15講座と子ども講座1講座が開催された。（予算は生涯学習推進費） ◇まつりは、11月16、17日に開催、3,700人の来場者があった。				
平成30年度 実績等	◇施設管理業務：利用者数 41,775人 ◇生涯学習講座14講座と子ども講座1講座が開催された。（予算は生涯学習推進費） ◇まつりは、11月17、18日に開催、3,500人の来場者があった。				
課題及び 今後の 取り組み	施設の老朽化（昭和60年度建設）による維持管理費の増大。 講座参加人数の増加に努める。 講座の終了者によるサークル化を促進する。 利用拡大を周知し、一層の利用者数の増加に努める。	評 価	↑ 実 現 度	A ☆ B ★ C	重要度→ ☆R1 ★H30
事業名		青少年健全育成費		資料編	29頁
目 標	子どもを健やかに育てる社会教育の充実	方 針	3 青少年健全育成意識の醸成に努めます		
概 要	青少年の健全な育成を図るため、健全育成大会の開催や子ども会等の青少年育成団体を支援する。				
令和元年度 目 標	青少年健全育成事業：「家庭の日」作品応募数 1,000点 成人式開催事業：参加率 85%				
令和元年度 実績等	◇青少年問題協議会：6月27日開催した。 ◇青少年健全育成事業：11月2日 健全育成大会の開催及び表彰を行った。 570人の参加があった。 ◇家庭の日普及事業：「家庭の日」作品（絵画、標語、詩）を募集した。応募数 482点 優秀作品による啓発品を作成し、啓発活動を実施した。 ◇青少年育成団体支援事業：子ども会、明湖会などの団体活動を支援した。 ◇成人式開催事業：1月12日 アメニティプラザで実施し、513人参加（参加率79%）があった。				
平成30年度 実績等	◇青少年問題協議会：6月29日開催した。 ◇青少年健全育成事業：11月3日 健全育成大会の開催及び表彰を行った。 570人の参加があった。 ◇家庭の日普及事業：「家庭の日」作品（絵画、標語、詩）を募集した。応募数 667点 優秀作品による啓発品を作成し、啓発活動を実施した。 ◇青少年育成団体支援事業：子ども会、明湖会などの団体活動を支援した。 ◇成人式開催事業：1月13日 アメニティプラザで実施し、523人参加（参加率84%）があった。				
課題及び 今後の 取り組み	社会全体で青少年を育成しようと機運を高め、事業を継続する。	評 価	↑ 実 現 度	A B ★☆ C	重要度→ ☆R1 ★H30

事業名	青少年健全育成センター活動費			資料編	30頁																
目 標	子どもを健やかに育てる社会教育の充実	方 針	3 青少年健全育成意識の醸成に努めます																		
概 要	青少年補導員による補導活動や社会教育指導員による相談活動等の青少年非行防止活動を行う。																				
令和元年度 目 標	補導実施回数 140回																				
令和元年度 実績等	◇街頭補導活動：月1～2回地区別定期補導及び夏季・冬季県下一斉補導 106回 ◇街頭キャンペーンを実施した。 ◇ヤングダイヤル電話相談活動：相談件数 6件																				
平成30年度 実績等	◇街頭補導活動：月1～2回地区別定期補導及び夏季・冬季県下一斉補導 113回 ◇街頭キャンペーンを実施した。 ◇ヤングダイヤル電話相談活動：相談件数 9件																				
課題及び 今後の 取り組み	2年ごとに地区で補導員を選出されるが、選出が難航する地区がある。			評 価	<table border="1"> <tr> <td>↑ 実 現 度</td> <td>A</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>B</td> <td>★☆</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>C</td> <td>B</td> <td>A</td> </tr> <tr> <td></td> <td colspan="3">重要度→ ☆R1 ★H30</td> </tr> </table>	↑ 実 現 度	A				B	★☆			C	B	A		重要度→ ☆R1 ★H30		
↑ 実 現 度	A																				
	B	★☆																			
	C	B	A																		
	重要度→ ☆R1 ★H30																				
事業名	北部地区多目的研修施設管理運営費			資料編	34頁																
目 標	学習活動の環境を充実する生涯学習の推進	方 針	4 さまざまな“学ぶ”活動ができる生涯学習の環境を整備します 5 市民が集い、結びあう公民館活動に努めます 6 安全で安心な施設の管理運営に努めます																		
概 要	北部地区多目的研修集会施設の維持管理と各種講座、まつりの開催。																				
令和元年度 目 標	利用者数 18,000人																				
令和元年度 実績等	◇施設の維持管理：利用者数 12,737人 ◇生涯学習講座6講座と子ども講座1講座が開催された。（予算は生涯学習推進費） ◇まつりは10月26日に行い、2,100人の来場者があった。																				
平成30年度 実績等	◇施設の維持管理：利用者数 14,665人 ◇生涯学習講座11講座と子ども講座1講座が開催された。（予算は生涯学習推進費） ◇まつりは10月27日に行い、2,000人の来場者があった。																				
課題及び 今後の 取り組み	施設の老朽化（昭和56年度建設）による維持管理費の増大。 講座参加人数の増加に努める。 講座の終了者によるサークル化を促進する。			評 価	<table border="1"> <tr> <td>↑ 実 現 度</td> <td>A</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>B</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>C</td> <td>★☆</td> <td>A</td> </tr> <tr> <td></td> <td colspan="3">重要度→ ☆R1 ★H30</td> </tr> </table>	↑ 実 現 度	A				B				C	★☆	A		重要度→ ☆R1 ★H30		
↑ 実 現 度	A																				
	B																				
	C	★☆	A																		
	重要度→ ☆R1 ★H30																				

事業名	南部地区構造改善センター管理運営費		資料編	34頁									
目 標	学習活動の環境を充実する生涯学習の推進	方 針	4 さまざまな“学ぶ”活動ができる生涯学習の環境を整備します 5 市民が集い、結びあう公民館活動に努めます 6 安全で安心な施設の管理運営に努めます										
概 要	南部構造改善センターの維持管理と各種講座、まつりの開催。												
令和元年度 目 標	利用者数 25,000人												
令和元年度 実績等	◇施設の維持管理：利用者総数 14,489人 ◇生涯学習講座8講座と子ども講座1講座が開催された。（予算は生涯学習推進費） ◇まつりは8月3日に行い、750人の来場者があった。												
平成30年度 実績等	◇施設の維持管理：利用者総数 16,153人 ◇生涯学習講座10講座と子ども講座1講座が開催された。（予算は生涯学習推進費） ◇まつりは8月4日に行い、700人の来場者があった。												
課題及び 今後の 取り組み	施設の老朽化（平成6年度建設）による維持管理費の増大。 講座参加人数の増加に努める。 講座の終了者によるサークル化を促進する。	評 価	↑ 実 現 度	<table border="1"> <tr> <td>A</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>B</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>C</td> <td>★☆</td> <td>A</td> </tr> </table> 重要度→ ☆R1 ★H30	A			B			C	★☆	A
A													
B													
C	★☆	A											

[スポーツ・文化課 事業評価の概要]

事業名		文化振興関係経費		資料編	30頁
目 標	文化、芸術に親しむ機会の提供と支援を行う活動	方 針	2 文化、芸術の振興と支援に努めます		
概 要	芸術文化の振興及び市民の文化、芸術活動の支援を行う。				
令和元年度 目 標	市民芸術祭6200人、ふるさと歌舞伎500人、トキワマンサク祭り900人の入場者をめざす。				
令和元年度 実績等	◇芸術文化振興事業：文化・芸能・美術の祭典開催 5,643人、市民文芸第10号発行 ◇三遠南信ふるさと歌舞伎交流大会：愛知県豊橋大会参加 400人 ◇トキワマンサクの里づくり事業：トキワマンサク祭り 490人 ※文化財保護保存関係は「文化財保護保存費」に記載				
平成30年度 実績等	◇芸術文化振興事業：文化・芸能・美術の祭典開催 6,377人、市民文芸第9号発行 ◇県巡回劇場：市内小学5年対象（音楽鑑賞） 551人 ◇三遠南信ふるさと歌舞伎交流大会：長野県下條村大会参加 250人 ◇トキワマンサクの里づくり事業：トキワマンサク祭り 409人 ※文化財保護保存関係は「文化財保護保存費」に記載				
課題及び 今後の 取り組み	文化協会をはじめ、各文化団体の高齢化が進んでおり、若年層の取り込みなどによって会の活性化を図る必要がある。	評 価	↑ 実 現 度	A	★☆☆
				C	B A
				重要度→ ☆R1 ★H30	
事業名		文化財保護保存費		資料編	32頁
目 標	まちの歴史の保護、保存、整備に力を入れる文化活動	方 針	1 歴史の保存と継承に努めます		
概 要	指定文化財の保護保存に努めるとともに、記録保存及び史跡保存整備事業を行う。				
令和元年度 目 標	新たに指定物件の12件追加、新居関跡整備の委員会開催1回、指定文化財保護のための補助件数9件等をめざす。				
令和元年度 実績等	◇文化財保護審議会：令和元年10月4日開催 指定文化財の現況報告、指定文化財候補物件の検討を行った。 ◇文化財保護保存事業：指定文化財保存管理、公開のために9件の補助を行った。 ◇市内遺跡発掘調査事業：開発行為に伴い発掘調査を行った。 ◇大知波峠廃寺跡保存整備事業：草刈りを実施し、保存管理に努めた。 ◇新居関跡保存整備事業：女改之長屋復元工事、委員会を1回開催した。 ◇湖西中学校南校舎「ふるさと学習室」を10月9日に一般公開した。また出前講座を2回開催した。				
平成30年度 実績等	◇文化財保護審議会：平成30年11月26日開催 指定文化財の現況報告、指定の検討を行った。 ◇文化財保護保存事業：指定文化財保存管理、公開のために14件の補助を行った。 ◇市内遺跡発掘調査事業：開発行為に伴い発掘調査を行った。 ◇大知波峠廃寺跡保存整備事業：草刈りを実施し、保存管理に努めた。 ◇新居関跡保存整備事業：女改之長屋復元工事、委員会・部会を1回開催した。 ◇湖西中学校南校舎「ふるさと学習室」を11月3日に一般公開した。また出前講座を2回開催した。				
課題及び 今後の 取り組み	近い将来、文化財地域保存活用計画の策定が必要となる。市内文化財の調査を行い文化財指定を進める。発掘調査による出土資料や民俗資料の整理活用を図る。民具倉庫の一部が老朽化しており、北部倉庫への収蔵集約を検討中。新居関跡保存整備は、史跡整備財源の確保と建物（船会所・土蔵等）の復元等の年次計画の検討が必要であり、史跡保存活用計画の策定を図る。	評 価	↑ 実 現 度	A	★☆☆
				C	B A
				重要度→ ☆R1 ★H30	

事業名	白須賀宿歴史拠点施設管理運営費			資料編	33頁
目標	生活の中で歴史に触れる活動	方針	1 歴史の保存と継承に努めます 3 安全で安心な施設の管理運営に努めます		
概要	白須賀宿や歴史と文化を広めるとともに、資料の保存と活用を図るため、白須賀宿歴史拠点施設の運営管理と各種事業を行う。				
令和元年度目標	再発見事業などの展開により、年間入館者数6,500人をめざす。				
令和元年度実績等	◇白須賀宿歴史拠点施設管理運営：入場者数 3,961人 ◇白須賀宿再発見事業：参加者0人（新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止）				
平成30年度実績等	◇白須賀宿歴史拠点施設管理運営：入場者数 4,456人 ◇白須賀宿再発見事業：参加者0人（雨天中止）				
課題及び今後の取り組み	開館から19年が経過しており、展示内容の見直しを行う必要がある。 愛LOVEウォークin白須賀の参加者増に向けて、対応策について検討する。	評価	↑ 実現度	A	★☆
				C	B A
				重要度→ ☆R1 ★H30	
事業名	新居関所史料館管理運営費			資料編	33頁
目標	生活の中で歴史に触れる活動	方針	1 歴史の保存と継承に努めます 3 安全で安心な施設の管理運営に努めます		
概要	国特別史跡新居関跡の保存に努めるとともに、新居関所に関する歴史資料の保存と活用を図るため、新居関所史料館の運営管理と各種事業を行う。				
令和元年度目標	保存整備事業の成果を利用して、入場者数37,000人をめざす。				
令和元年度実績等	◇新居関所史料館管理：入館者数 18,016人 ◇新居関所史料館運営委員会：令和元年7月23日開催 ◇展示活動：企画展7回 ◇新居宿史跡案内人の会補助事業				
平成30年度実績等	◇新居関所史料館管理：入館者数 22,773人 ◇新居関所史料館運営委員会：平成31年2月26日開催 ◇展示活動：企画展5回 ◇新居宿史跡案内人の会補助事業				
課題及び今後の取り組み	関所整備に合わせたイベントの実施や魅力ある企画展示の開催などによって親しみやすい運営に努め、入館者の増加につなげる。また白須賀宿やおんやど白須賀などと連携したPRに努める。	評価	↑ 実現度	A	★☆
				C	B A
				重要度→ ☆R1 ★H30	
事業名	紀伊国屋資料館管理運営費			資料編	33頁
目標	生活の中で歴史に触れる活動	方針	1 歴史の保存と継承に努めます 3 安全で安心な施設の管理運営に努めます		
概要	市指定の旅籠紀伊国屋の保存に努めるとともに、江戸時代の旅籠に関する歴史資料の保存と活用を図るため、紀伊国屋資料館の管理と運営を行う。				
令和元年度目標	新居関所史料館との連携で入館者数17,400人をめざす。				
令和元年度実績等	◇紀伊国屋資料館管理運営事業：入館者数 10,622人 ◇展示活動：おひなさま展				
平成30年度実績等	◇紀伊国屋資料館管理運営事業：入館者数 12,444人 ◇展示活動：おひなさま展				
課題及び今後の取り組み	市指定有形文化財としての保存に努めるとともに、地域イベントなどにも協力し活用を図る。 新居関所や小松楼まちづくり交流館と連携した事業を展開する。	評価	↑ 実現度	A	★☆
				C	B A
				重要度→ ☆R1 ★H30	

事業名	小松楼まちづくり交流館管理運営費			資料編	34頁
目 標	生活の中で歴史に触れる活動	方 針	1 歴史の保存と継承に努めます 3 安全で安心な施設の管理運営に努めます		
概 要	国登録文化財の小松楼の保存に努めるとともに、地域振興並びに新居関所周辺の観光振興及び文化振興を図るため、小松楼まちづくり交流館の管理と運営を行う。				
令和元年度 目 標	周辺施設や地域団体と連携して、入館者数16,000人を目指す。				
令和元年度 実績等	◇小松楼まちづくり交流館管理運営事業：入館者数 12,772人 ◇活動：地域の茶の間、遊楽舎講座、ギャラリー展示開催				
平成30年度 実績等	◇小松楼まちづくり交流館管理運営事業：入館者数 14,369人 ◇活動：地域の茶の間、遊楽舎講座、ギャラリー展示開催				
課題及び 今後の 取り組み	国登録文化財の保存に努めるとともに、関所史料館・紀伊国屋資料館・町並み等との連携や活用について課題はあるが、歴史的資産を生かした地域振興と市民協働による地域イベントなどの取り組みとしてある程度の成果を挙げている。 新居関所や紀伊国屋資料館と連携した事業を展開する。	評 価	↑ 実 現 度	A	★☆
				C	B A 重要度→ ☆R1 ★H30
事業名	保健体育総務関係経費（社会体育振興事業）			資料編	37頁
目 標	誰もが、いつでも、どこでも、いつまでも親しみ、楽しむことができる生涯スポーツ文化の推進	方 針	1 スポーツの普及推進及び育成を図ります		
概 要	スポーツ推進委員会を中心として各種スポーツ活動の企画・運営を行い、スポーツの普及を図る。				
令和元年度 目 標	ニュースポーツ参加人数 1,500人				
令和元年度 実績等	◇ニュースポーツ参加人数 1,206人				
平成30年度 実績等	◇ニュースポーツ参加人数 1,279人				
課題及び 今後の 取り組み	ニュースポーツ講習会等の参加者が固定化傾向で、新しい参加者が少なくなっている。 市民のニーズに沿った各種スポーツ活動についてスポーツ推進委員で企画検討し、スポーツ活動の充実に努める。 また、新型コロナウイルス等感染症対策を考えた上で、このような状況の中、いかに開催することができるか、ガイドライン並びに新たな開催方法について検討していく必要がある。	評 価	↑ 実 現 度	A	★☆
				C	B A 重要度→ ☆R1 ★H30
事業名	保健体育総務関係経費（健康づくり事業）			資料編	37頁
目 標	誰もが、いつでも、どこでも、いつまでも親しみ、楽しむことができる生涯スポーツ文化の推進	方 針	1 スポーツの普及推進及び育成を図ります		
概 要	スポーツの推進に関する施策の基本を明らかにし、市民の心身の健全な発達と明るい市民生活の形成に寄与することを目的に、湖西市の実情に即した推進計画を策定する。				
令和元年度 目 標	健康づくり事業として、白須賀ウォーキングコースの設定及び予算付けを行う。				
令和元年度 実績等	◇白須賀ウォーキングコースに関し、予算付けすることができなかった。				
平成30年度 実績等	◇白須賀ウォーキングコースに関し、予算付けすることができなかった。				
課題及び 今後の 取り組み	健康づくり事業の一環として、手軽にできる運動がしやすい環境づくりに努める。 ウォーキングコースについては、各地域で安心して手軽にできるウォーキングや散歩のモデルコースとして、これまでに既存の鷺津、入出、岡崎に加え、平成27年度の新居以降、白須賀が今も設置されていない状況である。今後も引き続き予算要求を行うとともに、予算が付かない場合も想定し、必要性も踏まえ設置方法について検討していかなければならない。	評 価	↑ 実 現 度	A	★
				C	B A 重要度→ ☆R1 ★H30

事業名	社会体育施設維持管理費（湖西運動公園外5施設維持管理）		資料編	38頁																
目 標	誰もが、いつでも、どこでも、いつまでも親しみ、楽しむことができる生涯スポーツ文化の推進	方 針	3 社会体育施設の維持管理及び運営に努めます																	
概 要	湖西運動公園・梶田多目的運動広場・北部地区運動広場・みなと運動公園・新居スポーツ広場公園・勤労者体育センターの利用者が快適かつ安全に競技ができるよう指定管理者による施設の維持管理を行う。																			
令和元年度 目 標	湖西運動公園外5施設年間利用目標：195,000人																			
実績等	湖西運動公園等	平成30年度年間利用者数	令和元年度年間利用者数																	
	湖西運動公園	51,603人	47,401人																	
	梶田多目的運動広場	3,503人	2,398人																	
	北部地区運動広場	13,485人	16,643人																	
	合 計	68,591人	66,442人																	
	みなと運動公園	平成30年度年間利用者数	令和元年度年間利用者数																	
	野球場	4,370人	3,923人																	
	多目的広場	9,926人	9,715人																	
	合 計	14,296人	13,638人																	
	新居スポーツ広場公園	平成30年度年間利用者数	令和元年度年間利用者数																	
	体育館	76,354人	77,230人																	
	庭球場	3,765人	3,305人																	
	弓道場	2,798人	2,172人																	
	合 計	82,917人	82,707人																	
	勤労者体育センター	平成30年度年間利用者数	令和元年度年間利用者数																	
	体育室	33,298人	33,333人																	
軽運動室	5,167人	5,396人																		
トレーニング室	3,009人	2,265人																		
合 計	41,474人	40,994人																		
課題及び 今後の 取り組み	指定管理者の運営努力により利用者は伸びているものの、令和元年度については新型コロナウイルスの影響により利用者は減少。施設の老朽化が進んでいるため、計画的な修繕が必要。		評価	<table border="1"> <tr> <td>↑ 実 現 度</td> <td>A</td> <td></td> <td>★☆☆</td> </tr> <tr> <td></td> <td>B</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>C</td> <td>B</td> <td>A</td> </tr> <tr> <td></td> <td colspan="3">重要度→ ☆R1 ★H30</td> </tr> </table>	↑ 実 現 度	A		★☆☆		B				C	B	A		重要度→ ☆R1 ★H30		
↑ 実 現 度	A		★☆☆																	
	B																			
	C	B	A																	
	重要度→ ☆R1 ★H30																			
事業名	社会体育施設維持管理費（複合運動施設管理運営）		資料編	39頁																
目 標	誰もが、いつでも、どこでも、いつまでも親しみ、楽しむことができる生涯スポーツ文化の推進	方 針	3 社会体育施設の維持管理及び運営に努めます																	
概 要	アメニティプラザの利用者が、快適かつ安全に競技できるよう指定管理者による施設管理を行う。																			
令和元年度 目 標	アメニティプラザ年間利用者目標：320,000人																			
実績等	施 設 名	平成30年度年間利用者数	令和元年度年間利用者数																	
	温水レジャープール	114,600人	108,068人																	
	浴室	81,739人	77,415人																	
	トレーニングルーム	28,159人	26,635人																	
	メインアリーナ	37,793人	38,678人																	
	サブアリーナ	19,549人	17,499人																	
	スタジアム	16,592人	16,476人																	
	合 計	298,432人	284,771人																	
課題及び 今後の 取り組み	指定管理者の運営努力により利用者の満足度は高いが、令和元年度については新型コロナウイルスの影響により利用者は減少。施設の老朽化が進んでいるため、計画的な修繕が必要。		評価	<table border="1"> <tr> <td>↑ 実 現 度</td> <td>A</td> <td></td> <td>★☆☆</td> </tr> <tr> <td></td> <td>B</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>C</td> <td>B</td> <td>A</td> </tr> <tr> <td></td> <td colspan="3">重要度→ ☆R1 ★H30</td> </tr> </table>	↑ 実 現 度	A		★☆☆		B				C	B	A		重要度→ ☆R1 ★H30		
↑ 実 現 度	A		★☆☆																	
	B																			
	C	B	A																	
	重要度→ ☆R1 ★H30																			

事業名	スポーツ活動推進及び大会運営費（スポーツ普及推進及び育成事業）		資料編	40頁									
目 標	誰もが、いつでも、どこでも、いつまでも親しみ、楽しむことができる生涯スポーツ文化の推進	方 針	1 スポーツの普及推進及び育成を図ります										
概 要	市民のスポーツ活動を推進し、競技力の向上と健康増進を図るため、スポーツ大会やスポーツ教室の開催など各種事業を行う。												
令和元年度 目 標	スポーツ教室及びスポーツ大会参加者目標：8,000人												
令和元年度 実績等	◇スポーツ教室	ニュースポーツ講習会等、10教室、2講習会 延 139回 総参加者数 2,585人											
	◇各種スポーツ大会	陸上競技、野球、卓球等 18大会 総参加者数 3,768人											
	◇スポーツ少年団派遣事業	4競技 派遣回数15回											
平成30年度 実績等	◇スポーツ教室	ニュースポーツ講習会等、10教室、2講習会 延 142回 総参加者数 2,934人											
	◇各種スポーツ大会	陸上競技、野球、卓球等 18大会 総参加者数 4,111人											
	◇スポーツ少年団派遣事業	4競技 派遣回数7回											
課題及び 今後の 取り組み	参加者アンケート、他市の実施状況等を参考に、ニーズにあった種目、大会を実施する。 新規教室の発掘が課題となる。 新型コロナウイルス等感染対策を考えた上で、このような状況の中、いかに開催することができるか、ガイドライン並びに開催方法について検討していく必要がある。	評価	↑ 実現度	<table border="1"> <tr><td>A</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>B</td><td>★☆</td><td></td></tr> <tr><td>C</td><td>B</td><td>A</td></tr> </table> 重要度→ ☆R1 ★H30	A			B	★☆		C	B	A
A													
B	★☆												
C	B	A											
事業名	スポーツ活動推進及び大会運営費（ジュニアスポーツ育成事業）		資料編	40頁									
目 標	誰もが、いつでも、どこでも、いつまでも親しみ、楽しむことができる生涯スポーツ文化の推進	方 針	1 スポーツの普及推進及び育成を図ります										
概 要	中学生の競技力向上のため、ジュニアスポーツクラブを育成する。												
令和元年度 目 標	生徒参加者目標：150人												
令和元年度 実績等	◇実施種目	野球、サッカー、ソフトテニス、柔道、陸上長距離											
	参加者数	145人											
平成30年度 実績等	◇実施種目	野球、サッカー、ソフトテニス、柔道、陸上長距離											
	参加者数	151人											
課題及び 今後の 取り組み	学校の部活動と連絡・調整を行い、今後も活動を継続する。 他の新種目の指導者の発掘及びスポーツ人口減少問題が課題。 新型コロナウイルス等感染対策を考えた上で、このような状況の中、いかに活動することができるか、ガイドライン並びに開催方法について検討していく必要がある。	評価	↑ 実現度	<table border="1"> <tr><td>A</td><td>★</td><td></td></tr> <tr><td>B</td><td>☆</td><td></td></tr> <tr><td>C</td><td>B</td><td>A</td></tr> </table> 重要度→ ☆R1 ★H30	A	★		B	☆		C	B	A
A	★												
B	☆												
C	B	A											
事業名	スポーツ活動推進及び大会運営費（高齢者の健康生きがいづくり事業）		資料編	40頁									
目 標	誰もが、いつでも、どこでも、いつまでも親しみ、楽しむことができる生涯スポーツ文化の推進	方 針	1 スポーツの普及推進及び育成を図ります										
概 要	高齢者の方々が心と体を健康に保つために、スポーツに親しむ場を提供する。												
令和元年度 目 標	大会参加者目標：1,850人												
令和元年度 実績等	◇スポーツ大会開催種目	パタンク、ラージボール、ペタボード、グランドゴルフ、輪投げ											
	大会回数	年9回 総参加者数 1,695人											
平成30年度 実績等	◇スポーツ大会開催種目	パタンク、ラージボール、ペタボード、グランドゴルフ、輪投げ											
	大会回数	年9回 総参加者数 1,863人											
課題及び 今後の 取り組み	さらなる参加者数の拡大が課題。また、天候に左右されやすい種目は開催時期の変更もしくは回数を減らすことも必要。 新型コロナウイルス等感染対策を考えた上で、このような状況の中、いかに活動することができるか、ガイドライン並びに開催方法について検討していく必要がある。	評価	↑ 実現度	<table border="1"> <tr><td>A</td><td>★</td><td></td></tr> <tr><td>B</td><td>☆</td><td></td></tr> <tr><td>C</td><td>B</td><td>A</td></tr> </table> 重要度→ ☆R1 ★H30	A	★		B	☆		C	B	A
A	★												
B	☆												
C	B	A											

事業名	スポーツ活動推進及び大会運営費（学校体育施設開放事業）		資料編	41頁										
目 標	誰もが、いつでも、どこでも、いつまでも親しみ、楽しむことができる生涯スポーツ文化の推進	方 針	2 社会体育施設の維持管理及び運営に努めます											
概 要	市内小中学校体育施設を開放することにより、市民がスポーツを通じて交流する場を提供する。													
令和元年度 目 標	学校体育施設利用者目標：101,000人													
実績等	施 設 名	平成30年度		令和元年度										
		延利用回数	延利用者数	延利用回数	延利用者数									
	小・中学校運動場	670回	28,269人	500回	28,043人									
	小・中学校体育館	2,089回	53,725人	2,035回	56,714人									
	小・中学校武道場	905回	16,505人	827回	13,922人									
	小・中学校クラブハウス	206回	1,028人	119回	638人									
	新居幼稚園遊戯室	26回	1,056人	40回	984人									
合 計	3,896回	100,583人	3,521回	100,301人										
課題及び 今後の 取り組み	<p>固定的な利用が多いため、新規参加が難しく、利用者の拡大が課題。 また、施設管理を行う上で、施設の老朽化が進んでいる中で限られた予算での修繕等の対応となることから、なかなか思うような修繕等ができない状況である。</p>		評 価	↑ 実 現 度	<table border="1"> <tr><td>A</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>B</td><td></td><td>★☆</td></tr> <tr><td>C</td><td>B</td><td>A</td></tr> </table> <p>重要度→ ☆R1 ★H30</p>	A			B		★☆	C	B	A
A														
B		★☆												
C	B	A												
事業名	スポーツ活動推進及び大会運営費（静岡県市町対抗駅伝競走大会）		資料編	42頁										
目 標	誰もが、いつでも、どこでも、いつまでも親しみ、楽しむことができる生涯スポーツ文化の推進	方 針	1 スポーツの普及推進及び育成を図ります											
概 要	市町対抗駅伝に出場し、競技力の向上を図る。													
令和元年度 目 標	市の部10位以内入賞をめざす。													
令和元年度 実績等	◇開催日	11月30日（土）												
	◇成績	市の部 11位												
平成30年度 実績等	◇開催日	12月1日（土）												
	◇成績	市の部 10位												
課題及び 今後の 取り組み	<p>優秀な競技者の発掘、競技力の向上に努力する。 小中学生の走力向上に取り組み、近い将来に3位入賞を実現する。</p>		評 価	↑ 実 現 度	<table border="1"> <tr><td>A</td><td></td><td>★</td></tr> <tr><td>B</td><td></td><td>☆</td></tr> <tr><td>C</td><td>B</td><td>A</td></tr> </table> <p>重要度→ ☆R1 ★H30</p>	A		★	B		☆	C	B	A
A		★												
B		☆												
C	B	A												
事業名	スポーツ活動推進及び大会運営費（湖西市駅伝大会）		資料編	42頁										
目 標	誰もが、いつでも、どこでも、いつまでも親しみ、楽しむことができる生涯スポーツ文化の推進	方 針	1 スポーツの普及推進及び育成を図ります											
概 要	駅伝大会を開催し、競技力の向上を図る。また、ふれあいジョギングを併せて開催し日頃のスポーツ不足を解消し市民のふれあいを深める。													
令和元年度 目 標	大会参加チーム目標：90チーム													
令和元年度 実績等	◇開催日	1月19日（日）												
	◇参加申込数	96チーム 804人 ふれあいジョギング 86人												
平成30年度 実績等	◇開催日	1月20日（日）												
	◇参加申込数	99チーム 891人 ふれあいジョギング 89人												
課題及び 今後の 取り組み	<p>一般道路を使っでの競技になるので、渋滞等の苦情が多いこと、また、事故が起きないように運営することが課題。代替案を視野に開催方法の詳細について検討。 新型コロナウイルス等感染対策を考えた上で、このような状況の中、いかに開催することができるか、ガイドライン並びに開催方法を検討していく必要がある。</p>		評 価	↑ 実 現 度	<table border="1"> <tr><td>A</td><td></td><td>★☆</td></tr> <tr><td>B</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>C</td><td>B</td><td>A</td></tr> </table> <p>重要度→ ☆R1 ★H30</p>	A		★☆	B			C	B	A
A		★☆												
B														
C	B	A												

事業名	スポーツ活動推進及び大会運営費（室内棒高跳記録会）			資料編	42頁			
目 標	誰もが、いつでも、どこでも、いつまでも親しみ、楽しむことができる生涯スポーツ文化の推進	方 針	1 スポーツの普及推進及び育成を図ります					
概 要	近隣の中高校生・一般選手の棒高跳競技の強化を目的とし、自己記録及び新記録樹立をめざす場を提供する。							
令和元年度 目 標	記録会参加者目標：80人							
実績等	区 分	平成30年度 記録会			令和元年度 記録会			
		対象者	開催日	参加者数	対象者	開催日	参加者数	
		大会 記録会	小中学生 高校生・一般	2月16日(土) 2月17日(日)	38人 46人	中学生 高校生・一般	2月8日(土) 2月9日(日)	36人 67人
		計		84人	計		103人	
課題及び 今後の 取り組み	<p>今後も静岡西部陸上競技協会が主催者となった記録会を継続するとともに、将来的にはトップジャンパーを招集できる大会となるよう、静岡西部陸上競技協会と連携する。</p> <p>さらには、全国でも数少ない日本陸連公認の室内棒高跳施設を強みに、棒高跳選手を有する大学や企業・クラブチームなどの練習や合宿で施設・用具を活用してもらうようPRを図る。</p>			評価	↑ 実 現 度	A		
						B	★☆	
					C    B    A 重要度→ ☆R1 ★H30			

[図書館事業評価の概要]

事業名	中央図書館管理運営費（中央図書館運営事業）		資料編	35頁												
目 標	学習活動環境の充実	方 針	1 情報拠点としての図書館運営の充実に努めます													
概 要	情報拠点としての図書館運営の充実を図るために、より多くの市民に利用していただくため、蔵書及び図書館機能の充実と窓口の円滑なサービスを行う。															
令和元年度 目 標	入館者数 150,000人															
令和元年度 実績等	◇入館者数 139,204人 ◇図書購入状況 図書 4,628冊 雑誌1,053冊 AV資料81点 ◇登録者状況 21,444人 ◇図書貸出状況 268,638冊（一般 107,877 児童 126,812 雑誌 17,467 AV 16,482） ◇蔵書状況 176,863冊（一般 112,135 児童 56,004 雑誌 5,289 AV 3,435）															
平成30年度 実績等	◇入館者数 140,218人 ◇図書購入状況 図書 4,843冊 雑誌 1,086冊 AV資料 93点 ◇登録者状況 20,305人 ◇図書貸出状況 280,435冊（一般 109,515 児童 135,820 雑誌 18,340 AV 16,760） ◇蔵書状況 175,865冊（一般 110,209 児童 56,521 雑誌 4,743 AV 3,392）															
課題及び 今後の 取り組み	図書館にまた行きたくなるような事業展開を考える。また情報発信拠点として、特集コーナーを設けて様々な分野の資料を展示するなど、読書環境を整備する。書架の新鮮さを維持するために、開架書架より古い資料を抜き取る作業を継続して実施する。 多文化サービス拡大のため外国語資料を充実させる。 デジタル化に対応したサービスの検討。 学校司書の配置による学校図書館運営のさらなる充実。	評価	↑ 実現度	<table border="1"> <tr><td>A</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>B</td><td></td><td>☆☆</td></tr> <tr><td>C</td><td>B</td><td>A</td></tr> </table> 重要度→ ☆R1 ★H30	A			B		☆☆	C	B	A			
A																
B		☆☆														
C	B	A														
事業名	中央図書館管理運営費（図書館施設維持管理事業）		資料編	35頁												
目 標	学習活動環境の充実	方 針	3 安全で快適な施設環境を整えるよう施設の維持管理に努めます													
概 要	快適な施設環境を整え、図書館の利用者に安全で快適な空間を提供することを目的に施設の維持管理を行う。															
令和元年度 目 標	管理運営上支障なく開館された日数 302日															
令和元年度 実績等	◇開館日数 302日 ◇清掃業務等3業務を委託した。 ◇外壁等改修工事等を行った。															
平成30年度 実績等	◇開館日数 302日 ◇空調設備、消防設備等保守点検業務等12業務を委託した。 ◇高圧気中開閉器修繕等を行った。															
課題及び 今後の 取り組み	市民が安全で快適な環境で図書館を利用してもらえるように努める。	評価	↑ 実現度	<table border="1"> <tr><td>A</td><td></td><td>★</td><td>☆</td></tr> <tr><td>B</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>C</td><td>B</td><td>A</td><td></td></tr> </table> 重要度→ ☆R1 ★H30	A		★	☆	B				C	B	A	
A		★	☆													
B																
C	B	A														

事業名	中央図書館管理運営費（図書館活動推進事業）			資料編	36頁	
目 標	学習活動環境の充実	方 針	2	図書館活動の推進に努めます		
概 要	図書館活動の推進を図るために、図書館ボランティアの自己啓発及び育成とともに、読書普及活動を行う。また、乳幼児期から本に親しんでもらうためブックスタート事業を推進する。					
令和元年度 目 標	イベント参加人数 4,400人					
令和元年度 実績等	◇夏の図書館まつり、よみん祭 702人      ◇チャレンジブックラリー 1,125人 ◇おはなし会 1,058人                              ◇その他事業 437人 ◇ブックスタート事業 165人                      参加者数合計 3,487人					
平成30年度 実績等	◇夏の図書館まつり、よみん祭 906人      ◇チャレンジブックラリー 1,592人 ◇おはなし会 1,084人                              ◇その他事業 649人 ◇ブックスタート事業 240人                      参加者数合計 4,471人					
課題及び 今後の 取り組み	ブックスタート事業に参加できなかった親へのアフターフォローを検討し、より多くの方に乳幼児期から本に親しんでもらえるよう、事業を推進する。ボランティアの確保と育成を図る。多文化サービス拡大のため、講演会・勉強会等のイベントを企画する。			評 価	↑ 実現度 A B C	★ ☆ A
					重要度→ ☆R1 ★H30	
事業名	新居図書館管理運営費（図書館運営事業）			資料編	36頁	
目 標	学習活動環境の充実	方 針	1	情報拠点としての図書館運営の充実に努めます		
概 要	情報拠点としての図書館運営の充実を図るために、より多くの市民に利用していただくため、蔵書及び図書館機能の充実と窓口の円滑なサービスを行う。					
令和元年度 目 標	入館者数 100,000人					
令和元年度 実績等	◇入館者数 88,613人 ◇図書購入状況 図書1,806冊 雑誌 643冊 AV資料 65点 ◇図書貸出状況 125,799冊（一般45,874 児童 63,604 雑誌 6,374 AV 9,947） ◇蔵書状況 108,474冊（一般 70,977 児童 31,749 雑誌 3,535 AV 2,213）					
平成30年度 実績等	◇入館者数 96,389人 ◇図書購入状況 図書 1,807冊 雑誌 675冊 AV資料 77点 ◇図書貸出状況 130,304冊（一般 47,084 児童 66,450 雑誌 6,441 AV 10,329） ◇蔵書状況 107,421冊（一般 70,867 児童 30,881雑誌 3,516 AV 2,157）					
課題及び 今後の 取り組み	小さいお子さんを連れの方が来館しやすい環境を整える。大人が参加できるような講座を引き続き開催する。情報発信拠点として、特集コーナーを設けて様々な分野の資料を展示するなど、読書環境を整備する。また書架の新鮮さを維持するために、開架書架より古い資料を抜き取る作業を継続して実施する。			評 価	↑ 実現度 A B C	★☆ A
					重要度→ ☆R1 ★H30	
事業名	新居図書館管理運営費（図書館維持管理事業）			資料編	37頁	
目 標	学習活動環境の充実	方 針	3	安全で快適な施設環境を整えるよう施設の維持管理に努めます		
概 要	快適な施設環境を整え、図書館の利用者に安全で快適な空間を提供することを目的に施設の維持管理を行う。					
令和元年度 目 標	管理運営上支障なく開館された日数 302日					
令和元年度 実績等	◇開館日数 302日 ◇清掃業務等3業務を委託した。					
平成30年度 実績等	◇開館日数 302日 ◇空調設備、消防設備等保守点検業務等10業務を委託した。 ◇開架室、ロビー及びトイレ照明改修修繕等を行った。					
課題及び 今後の 取り組み	施設の老朽化による維持管理費の増大。市民が安全で快適な環境で図書館を利用してもらえるように努める。			評 価	↑ 実現度 A B C	★ ☆ A
					重要度→ ☆R1 ★H30	

事業名	新居図書館管理運営費（図書館活動推進事業）		資料編	37頁									
目 標	学習活動環境の充実	方 針	2 図書館活動の推進に努めます										
概 要	図書館活動の推進を図るために、図書館ボランティアの自己啓発及び育成とともに、読書普及活動を行う。また、乳幼児期から本に親しんでもらうためブックスタート事業を推進する。												
令和元年度 目 標	イベント参加人数 2,600人												
令和元年度 実績等	◇夏のおはなし会、よみん祭 559人 ◇お話し会 323人 ◇ブックスタート 57人	◇子どもスタンプラリー 1,167人 ◇その他事業 369人 参加者合計 2,475人											
平成30年度 実績等	◇夏のおはなし会、よみん祭 524人 ◇お話し会 373人 ◇ブックスタート 51人	◇子どもスタンプラリー 1,243人 ◇その他事業 340人 参加者合計 2,531人											
課題及び 今後の 取り組み	より多くの方に乳幼児期から本に親しんでもらえるよう、事業を推進する。 ボランティアの確保と育成を図る。	評 価	↑ 実 現 度	<table border="1"> <tr> <td>A</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>B</td> <td></td> <td>★☆</td> </tr> <tr> <td>C</td> <td>B</td> <td>A</td> </tr> </table> <p>重要度→ ☆R1 ★H30</p>	A			B		★☆	C	B	A
A													
B		★☆											
C	B	A											

### Ⅲ 外部評価委員（学識経験者）の意見

湖西市教育委員会の自己点検・評価に対する学識経験者による知見の活用は、教育に関し学識経験を有する下記の5名の方に依頼した。

外部評価委員の方々のお名前及び主な御意見、御助言は、次のとおりである。

#### 外部評価委員名簿

(50音順 敬称略)

氏 名	所 属 等
井 川 あ い 子	学校評議員代表
大 林 裕 子	教育委員経験者
鈴 木 誓 子	小中学校PTA連絡協議会
土 屋 み の り	スポーツ推進委員
吉 原 靖 則	学校長経験者

#### 外部評価委員会実施日

- ・令和2年11月6日（金）
- ・令和2年11月25日（水）

#### <自己点検・評価報告書全体>

○新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、これまでとは違う教育活動に取り組まなければならず大変だと思うが、今後も子どもたちの安全安心と市民にとって魅力ある事業に取り組んでいただきたい。

○自己点検・評価報告書と資料編は、目標・方針、重要度と実現度がわかりやすくまとめられており、事業概要と評価が理解しやすかった。

○財政状況の厳しい中、各課とも教育の課題解決と目標達成に向けて計画的かつ効果的に予算が使われている。今後も安全安心な施設づくりに取り組んでいただきたい。

#### <P9 教育委員会関係経費>

○総合教育会議は、市長と教育委員会が課題を共有し意見交換を行うことで、今後の教育事業に発展させていける重要な会議である。今後もわかりやすく開かれた教育委員会を心がけていただきたい。

#### <P10 育英奨学資金貸付事業費>

○育英奨学資金貸付事業は、選考基準を見直し、対象を広げたことを評価する。学びたい子どもが安心して学校生活をおくることができるよう、

奨学金制度の周知と支援の充実に取り組まれない。

<P11 学校給食推進事業費>

○学校給食調理業務の委託化により安定的に給食を提供することは大切なことではあるが、栄養士の管理の元で、今後も安全で栄養価の高い、おいしい給食を提供することを心がけていただきたい。

<P11 小学校教育振興費， P13 中学校教育振興費>

○学校の図書購入冊数の増加は評価できる。昨今は大人も子どもも活字離れが進む中、本を読む習慣を得ることで知識の向上、情操教育にも繋がるよう図書の充実に努めていただきたい。

<P12 小学校施設整備費， P14 中学校施設整備費， P15 幼稚園施設整備費>

○幼稚園、小・中学校の空調設備事業が完了し、速やかな対応に感謝する。今後は、子どもたちが安全安心な教育環境の中で活動できるよう維持費等の確保に努めていただきたい。

○児童生徒の安全や快適性の維持はもちろんであるが、教職員の快適性の維持・向上を強く希望する。特に小学校は女性教職員が多くトイレの洋式化を進めていただきたい。

<P12・13 教育扶助費（小学校・中学校）>

○就学助成制度が必要な児童生徒が増加傾向にあるが、平等に教育を受けられるよう、適切な支援ができるよう取り組まれない。

<P16 教育指導関係事業， P22 幼稚園教育指導関係経費>

○教育指導関係事業は、外国人児童が理解できるようポケトークを活用するなど、児童生徒にきめ細かく対応されており評価できる。教育指導が幼児期から継続し積み上げられるよう、専門職の人員確保に努めていただきたい。

○特別支援教育支援員の増員、配置は評価できる。今後も特別支援を要する児童生徒は増加することが予想されるため、学校要望に応じた支援員と予算の確保を継続して進めていただきたい。

<P17 学校保健衛生費>

○令和元年度から児童生徒及び教職員の耳鼻科検診が実施されたことは適切な早期治療につながるものと評価する。教職員のストレスチェック

は、小中学校の全教職員が実施できるよう努められたい。

<P20 こども園化準備費>

○公立幼稚園のこども園化については、着実に事業進捗しており、評価できる。あわせて、保育士の確保や働きやすい環境づくりにも積極的に取り組んでいただきたい。

<P22 幼稚園教育指導関係経費>

○童歌導入推進事業は、子どもの情操教育に必要であり評価する。核家族化が進む中、童歌を知らない児童生徒のためにも今後も継続していただきたい。

<P24 社会教育総務関係経費>

○新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、家にいることが多くなり若年層の自殺者が増えている。ヤングダイヤルこさいの電話相談等の活動の必要性は大きくなると思われ、LINE等のSNSを活用した相談窓口を設ける等、継続と充実に取り組んでいただきたい。

<P25 生涯学習推進費>

○各年代層に応じた活動が設定され様々な学びの場が提供されている。今後もニーズの把握に努め、開催時間を考慮し魅力的な講座や事業を展開するとともに、病院、スーパー、商店等に積極的なPR活動に取り組み、参加者が増加するよう努めていただきたい。

○家庭教育学級は、子育て中の不安な時期にいろいろな親子交流ができ、良い機会であった。放課後子ども教室推進事業は、学校教室が活動拠点となっており、今後も学校と協力、連携して取り組んでいただきたい。

<P26 西部地域センター管理運営費， P27北部地区多目的研修施設管理運営費， P28 南部地区構造改善センター管理運営費>

○地域の方々が集うまつり参加者の増加や西部地域センターは利用者が大幅に増えているなど取り組みを評価する。コロナ禍の中で大変であるが、生涯学習の推進のために尽力していただきたい。

<P27 青少年健全育成センター活動費>

○少子化等の影響により児童生徒の参加は減少すると考えられるが、将来に向けて青少年が健やかに育つよう継続的な支援を望む。

○子ども達は外で集まるよりスマホの“中”で集まることが多いと思われ、SNSに関する指導等の強化に努めていただきたい。

<P29 文化振興関係経費>

○小学生を対象とした県巡回劇場は、開催されないこととなったが、これに代わる芸術文化鑑賞機会の提供に努めていただきたい。

<P31 保健体育総務関係経費（社会体育振興事業）>

○デカスポテニス等のニュースポーツ講座では、市民ニーズの把握に努め、開催場所・時間や参加料を考慮する等、今後のスポーツ普及活動に取り組んでいただきたい。

<P31 保健体育総務関係経費（健康づくり事業）>

○白須賀ウォーキングコースが設定されることを期待する。その他のウォーキングコースにおいても、コース設定や活用について市や推進委員だけでなく各種団体などと協力、連携を図りながら、イベントを通して等、いろんな世代の方に知って楽しんでいただく努力が必要である。

<P33 スポーツ活動推進及び大会運営（高齢者の健康いきがづくり事業）>

○高齢化が進む中、健康生きがづくり事業は、高齢者の健康保持、体力増進のため重要である。スポーツに親しむ方々が増えるような種目や活動の推進に取り組んでいただきたい。

○東京オリンピック・パラリンピックのスペイン王国卓球代表選手の事前合宿や親善試合を実施するなど、間近にオリンピック選手に触れ、子どもにとって将来の励みになると思う。

○室内棒高跳び記録会が開催され、一流アスリートを見る機会が継続されるようになったことを評価する。全国でも数少ない日本陸上連盟公認の室内棒高跳施設があるということを市内外にもPRし認知され、観光等いろいろな面で展開していただきたい。

<P36 中央図書館管理運営費（中央図書館運営事業）>

○図書館では様々なイベントが工夫して開催されており評価できる。機能の充実として、新聞や電子図書などのデジタル化に対応したサービスの拡充を図っていただきたい。

## IV 総合評価

自己点検・評価報告書は、湖西市教育振興基本計画とのかかわりを示す記載方法等について、関連計画との整合状況がわかりやすくまとめられており、事業概要と評価が見やすく理解しやすかったという御意見をいただきました。

令和元年度の教育委員会事業においては、点検・評価を含めて計画どおり適正に実施されていることを確認いただきました。新居幼稚園、岡崎幼稚園のこども園化のほか、幼稚園、小・中学校では空調設備が完了し、近年の猛暑の中においても、より安全・快適に学校生活を送ることができるようになる等「諸般の財政事情の中、積極的に事業に取り組む姿勢」を評価いただきました。

現在は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、これまでとは違う教育活動に取り組む必要がありますが、今後も評価で得られた外部の知見とともに、この点検・評価を生かし湖西市教育振興基本計画の基本理念である「明日の湖西を創る“ひと”づくり」にまい進してまいりたいと考えています。また、評価結果を公表することで、教育委員会に関する積極的な情報公開や教育委員会事務に対する説明責任を果たすことに努めてまいりたいと思います。

この報告書は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条の規定により、令和元年度の教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を報告するものである。

令和2年12月

湖西市教育委員会 教育長 渡辺 宜宏